

# 松山市埋蔵文化財調査年報 21

平成 20 年度

2009

松山市教育委員会  
財団法人松山市生涯学習振興財団  
埋蔵文化財センター

# 松山市埋蔵文化財調査年報 21

平成 20 年度

2009

松山市教育委員会  
財団法人松山市生涯学習振興財団  
埋蔵文化財センター



# 序

松山市には、数多くの貴重な埋蔵文化財があり、財團法人松山市生涯学習振興財團埋蔵文化財センターでは、松山市教育委員会の指導を得て、開発工事等によって失われようとしている遺跡について、事前に発掘調査を実施し、記録保存に努めています。

本書は、平成 20 年度に埋蔵文化財センターが市内において実施した発掘調査の概要報告ならびに松山市考古館が同年度に行った展示会、講演会などの教育普及活動の概要をまとめたものです。

平成 20 年度に行いました発掘調査では、縄文時代から中・近世に至る数多くの遺構と遺物が発見されています。特に、櫻味地区重要遺跡確認調査として実施しました櫻味四反地遺跡 20 次調査では、古墳時代中期から後期に位置づけられる竪穴住居址より西日本でも有数の大きさを持つ袋状鉄斧がほぼ完全な形で出土しました。また、古墳時代後期の流路を調査した朝美辻遺跡では、掘立柱建物の建築部材である「跳放し」<sup>とねりはな</sup>が出土しています。この部材は松山平野初の出土例で、使用痕跡から片開きの扉に用いられたことがわかり、往時の建物の構造を復元するうえで大変貴重な資料と言えます。

また考古館では、平成 21 年度に開館 20 周年を迎えることから、より一層教育普及活動に力を入れ、特別展等各種展示会の開催、市内小・中学校や地区、公民館等への出前講座、火おこし、勾玉づくり等の体験学習など、多くの方々に古代の松山の歴史に直接ふれていただく機会を設けております。

今後とも、市民の皆様が気軽に利用頂けるような埋蔵文化財センター・考古館として充実させてまいりますので、より一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお本書が、松山市民をはじめ、ひとりでも多くの方々に埋蔵文化財の保護・普及と調査研究のための資料として、ご活用いただければ幸いに存じます。

平成 21 年 12 月 28 日

財團法人松山市生涯学習振興財團  
理事長 中 村 時 広

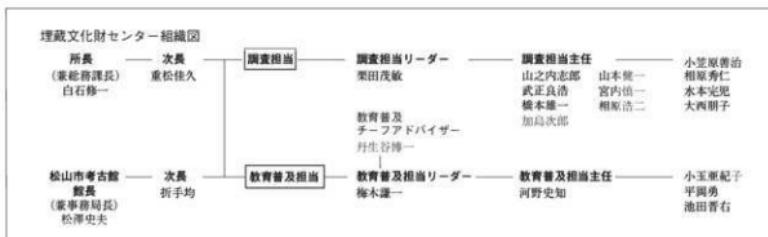
# 例　　言

- 本書は、松山市教育委員会と財団法人松山市生涯学習振興財團埋蔵文化財センターが、平成20年4月1日から平成21年3月31日までに実施した発掘調査の概要と、松山市考古館が行った教育普及事業の成果などをまとめた年次報告書である。
- 確認調査については、第II章の表にその概要をまとめた。
- 各調査の報告は、発掘調査担当者が執筆し、編集は山本健一が行った。
- 本書に掲載した写真の大半は、大西朋子が撮影した。
- 位置図は、国土地理院発行の2万5千分の1図を使用した。
- 遺構は、以下の略号で記した。

S B : 穴式住居址（建物址） 挖立：掘立柱建物址 S R : 自然流路 S D : 溝 S G : 池  
S E : 井戸 S K : 土坑 S A : 桁、柱列 S P : 柱穴 S X : 性格不明遺構

- 刊行組織は、以下の通りである。（平成21年4月1日現在）

松山市教育委員会	教育長	山内 泰
事務局	局長	藤田 仁
	企画官	古鎌 靖
	企画官	青木 茂
	企画官	佐々木乾二
文化財課	課長	家久 則雄
	主幹	森 正経
	副主幹	三好 博文
(財)松山市生涯学習振興財團	理事長	中村 時広
埋蔵文化財センター	所長兼秘書課長	松澤 史夫
	次長	白石 修一
	次長	折手 均
	次長	重松 佳久



#### 整理作業協力者（五十音順）

青野茂子・浅井茂之・池内芳美・石川千代美・石丸由利子・猪野美喜子・岩本美保・江島淳子・大野裕子・岡田弥生・岡本邦榮・越智田美紀・金子育代・川添利恵・木下奈緒美・木西嘉子・桐間ゆかり・忽那理恵・國田克彦・黒田竜弥・佐伯利枝・篠森千里・末光美恵・仙波千秋・仙波ミリ子・高尾久子・武智洋明・田崎真理・多知川富美子・戸川安子・中村 紫・西川千秋・西本三枝・丹生谷道代・萩野ちよみ・平岡直美・福岡志保美・本多智絵・松下郁子・松本美代子・水口あをい・村上真由美・森田利恵・八木幸徳・矢舗妙子・矢野久子・山下満佐子・山邊進也・渡部英子

#### 8. 以下の方々より、ご指導・ご協力を賜った。（五十音順・敬称略）

上原真人（京都大学大学院）・内島雅千穂（正派邦楽会）・大林 潤（奈良文化財研究所）・岡田敏彦（愛媛県埋蔵文化財調査センター）・岡村道雄（奈良文化財研究所名誉研究員）・金 想民（愛媛大学）・久保都和歌（正派邦楽会）・笹田朋孝（愛媛大学）・七田忠昭（佐賀県教育委員会）・柴田圭子（愛媛県埋蔵文化財調査センター）・柴田昌児（愛媛県埋蔵文化財調査センター）・下條信行（愛媛大学名誉教授）・高尾浩司（鳥取県教育委員会）・高瀬哲郎（元名護屋城博物館）・田崎博之（愛媛大学）・多田 仁（愛媛県埋蔵文化財調査センター）・谷本つくし（正派邦楽会）・茶谷 満（鳥取県埋蔵文化財調査センター）・長井数秋（愛媛考古学研究所）・中原 齊（鳥取県教育委員会）・名本二六雄（松山市文化財保護審議委員）・西谷 正（九州大学名誉教授）・濱田竜彦（鳥取県教育委員会）・林雅楽桜（正派邦楽会）・藤原陽一郎（愛媛生態系保全管理理事）・前園実知雄（奈良芸術短期大学）・前谷雅貴（正派邦楽会）・松原弘宣（愛媛大学）・三吉秀充（愛媛大学）・村上恭通（愛媛大学）・山内英樹（愛媛県埋蔵文化財調査センター）・山中敏史（奈良文化財研究所）・渡邊芳貴（西条市教育委員会）

#### 9. ご指導・ご協力を賜りました機関は、次のとおりである。（五十音順・敬称略）

愛媛生態系保全管理／株式会社京都科学／株式会社古環境研究所／株式会社パレオ・ラボ／株式会社吉田生物研究所／国立大学法人愛媛大学／国立大学法人九州大学／国立大学法人京都大学／財団法人愛媛県埋蔵文化財調査センター／財團法人元興寺文化財研究所／財團法人正派邦楽会／佐賀県教育委員会社会教育・文化財課／佐賀県立名護屋城博物館／史跡久米官衙遺跡群調査検討委員会／史跡松山城跡整備検討委員会／独立行政法人文化財研究所奈良文化財研究所／鳥取県教育委員会／鳥取県埋蔵文化財センター／奈良芸術短期大学／日本考古学協会／パリノ・サーヴェイ株式会社／東アジア古代鉄文化研究センター

#### 10. 本書の仕様は以下のとおりである。

製版 カラー写真・写真図版 - 175 線

印刷 オフセット印刷

用紙 本文：マットコート

製本 無線綴じ

## 本文目次

I 平成 20 年度 松山市埋蔵文化財調査概要	1
衣山北組遺跡	2
朝美辻遺跡	3
道後北代遺跡	4
松山城黒門跡 4 次調査	5
松山城三之丸跡 10 次調査	6
松山城三之丸跡 11 次調査	7
松山城三之丸跡 12 次調査	8
樽味四反地遺跡 20 次調査	9
樽味高木遺跡 16 次調査	10
桑原東稻葉遺跡	11
東本遺跡 11 次調査	12
中村松田遺跡 5 次調査	13
枝松遺跡 11 次調査	14
三町遺跡	15
筋違 Q 遺跡	16
南久米町遺跡 6 次調査	17
久米高烟遺跡 71 次調査	18
来住庵寺 35 次調査	19
平井遺跡 8 次調査	20
平井遺跡 9 次調査	21
水泥遺跡 7 次調査	22
II 平成 20 年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料	24
松山市埋蔵文化財確認調査一覧	25
松山市埋蔵文化財本格調査一覧	34
III 平成 20 年度 保存処理及び出土遺物整理	38
1. 保存処理 2. 平成 20 年度出土遺物整理の概要	
IV 平成 20 年度 受託事業	44
報告書作成整理作業 「道後今市遺跡 7 次調査」・「星岡登立遺跡 2 次調査」	
V 平成 20 年度 普及啓発事業	48
1. 展示活動 2. 教育普及活動 3. 収集・保管活動 4. 広報・出版活動	
5. 資料の貸出・調査 6. 職員研修・会議 7. 考古館月別入館者数調	

## 挿図・写真目次

### I 平成 20 年度 松山市埋蔵文化財調査概要

衣山北組遺跡	2
図 1 調査地位置図 (縮尺 1 : 25,000)	写真 1 1 区遺構検出状況 (南より)
	写真 2 掘立 1 完掘状況 (北東より)
朝美辻遺跡	3
図 1 調査地位置図 (縮尺 1 : 25,000)	写真 1 蹤放し出土状況
	写真 2 蹤放し取り上げ状況
道後北代遺跡	4
図 1 調査地位置図 (縮尺 1 : 25,000)	写真 1 完掘状況 (南より)
	写真 2 SK2 遺物出土状況 (南東より)
松山城黒門跡 4 次調査	5
図 1 調査地位置図 (縮尺 1 : 25,000)	写真 1 堀及び堀土手検出状況 (東より)
	写真 2 石垣修復工事完成状況 (南東より)
松山城三之丸跡 10 次調査	6
図 1 調査地位置図 (縮尺 1 : 25,000)	写真 1 石列 (南西から)
	写真 2 大型土坑 (南西から)
松山城三之丸跡 11 次調査	7
図 1 調査地位置図 (縮尺 1 : 25,000)	写真 1 道路側溝 (北上方より)
松山城三之丸跡 12 次調査	8
図 1 調査地位置図 (縮尺 1 : 25,000)	写真 1 小普請所石垣 (南より)
	写真 2 小普請所石垣 (南東より)
柳味四反地遺跡 20 次調査	9
図 1 調査地位置図 (縮尺 1 : 25,000)	写真 1 2 区遺構全景 (北より)
	写真 2 SB2 床面検出状況 (南東より)
柳味高木遺跡 16 次調査	10
図 1 調査地位置図 (縮尺 1 : 25,000)	写真 1 調査状況全景 (西より)
桑原東福葉遺跡	11
図 1 調査地位置図 (縮尺 1 : 25,000)	写真 1 SB1 完掘状況
	写真 2 SB2 完掘状況
東本遺跡 11 次調査	12
図 1 調査地位置図 (縮尺 1 : 25,000)	写真 1 SB1 遺物出土状況 (北より)
	写真 2 完掘状況 (西より)
中村松田遺跡 5 次調査	13
図 1 調査地位置図 (縮尺 1 : 25,000)	写真 1 遺構検出状況 (北東より)
	写真 2 SE201 検出状況 (北東より)
枝松遺跡 11 次調査	14
図 1 調査地位置図 (縮尺 1 : 25,000)	写真 1 6 区完掘状況 (南より)
	写真 2 調査地全景 (南より)

三町遺跡	15	
図1 調査地位置図（縮尺1:25,000）	写真1 遺構検出状況（東より）	
	写真2 完掘状況（南西より）	
筋違Q遺跡	16	
図1 調査地位置図（縮尺1:25,000）	写真1 北側（1区）調査状況（南より）	
	写真2 南側（2区）地鎮遺構1（北西より）	
南久米町遺跡6次調査	17	
図1 調査地位置図（縮尺1:25,000）	写真1 1区全景（北より）	
久米高畠遺跡71次調査	18	
図1 調査地位置図（縮尺1:25,000）	写真1 SK1・4調査状況（北より）	
	写真2 SB1調査状況（北より）	
来住庵寺35次調査	19	
図1 調査地位置図（縮尺1:25,000）	写真1 調査地全景（北西より）	
	写真2 一本柱壇遺物出土状況（南から）	
平井遺跡8次調査	20	
図1 調査地位置図（縮尺1:25,000）	写真1 完掘状況1（東より）	
	写真2 完掘状況2（北より）	
平井遺跡9次調査	21	
図1 調査地位置図（縮尺1:25,000）	写真1 完掘状況（北西より）	
	写真2 SK2遺物出土状況（西より）	
水泥遺跡7次調査	22	
図1 調査地位置図（縮尺1:25,000）	写真1 1区畦畔検出状況（北西より）	
	写真2 5区畝溝検出状況（南東より）	
II 平成20年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料		
図1 平成20年度 松山市埋蔵文化財本格調査位置図（縮尺1:80,000）	35	
III 平成20年度 保存処理及び出土遺物整理		
1. 保存処理		
図1 位置図（縮尺1:25,000）	写真1 処理後の層塔・五輪塔	40
図2 苑木地区層塔刻印展開図		41
IV 平成20年度 受託事業		
報告書作成整理作業「道後今市遺跡7次調査」		
図1 調査地位置図（縮尺1:25,000）		44
図2 出土遺物実測図（縮尺1:4）		44
「星岡遺跡2次調査」		
図1 調査地位置図（縮尺1:25,000）		45
図2 出土遺物実測図（縮尺1:3）		45

## 受託事業写真図版

写真 1 道後今市遺跡 7次調査 溝状遺構検出状況（北西より）	46
写真 2 星岡遺跡 2次調査 棚列検出状況（北西より）	46

## V 平成 20 年度 普及啓発事業

### 1. 展示活動

写真 1 「速報展」見学風景	63
----------------	----

### 2. 教育普及活動

写真 2 特別記念講演会	63
写真 3 初心者のための考古学講座（古墳見学）	63
写真 4 古代体験教室（考古館探検）	63
写真 5 来館（館内案内）	63
写真 6 来館（校区内の遺物実見）	63
写真 7 来館（特別展案内）	63
写真 8 職場体験（中学校）	63
写真 9 出前考古学講座①（小学校・講義）	64
写真 10 出前考古学講座②（小学校・講義）	64
写真 11 出前考古学講座③（小学校・火おこし体験）	64
写真 12 出前考古学講座④（小学校・土器見学）	64
写真 13 出前考古学講座⑤（小学校・土器焼き）	64
写真 14 出前考古学講座⑥（土器焼き）	64
写真 15 出前考古学講座⑦（勾玉作り）	64
写真 16 出前考古学講座⑧（はにわ作り）	64
写真 17 大連古代ハス開花風景（1）	65
写真 18 大連古代ハス開花風景（2）	65

## 表 目 次

## II 平成 20 年度 松山市埋蔵文化財調査関係資料

表 1 平成 20 年度 松山市埋蔵文化財確認調査一覧（1）～（9）	25
表 2 平成 20 年度 本格調査一覧	34

<b>III 平成 20 年度 保存処理及び出土遺物整理</b>	
<b>1. 保存処理</b>	
表 1 平成 20 年度 金属製品保存処理遺跡名一覧	38
表 2 平成 20 年度 動物遺骸体保存処理遺跡名一覧	39
<b>V 平成 20 年度 普及啓発事業</b>	
<b>1. 展示活動</b>	
表 1 展示会一覧 (1) (2)	51
<b>2. 教育普及活動</b>	
表 2 教育普及活動 (講演会等) 一覧 (1) (2)	52
表 3 教育普及活動 (体験教室) 一覧	53
表 4 教育普及活動 (体験学習) 一覧 (1) ~ (3)	53
表 5 教育普及活動 (現地説明会) 一覧	56
表 6 教育普及活動 (職場体験) 一覧	56
表 7 教育普及活動 (出前考古学講座) 一覧 (1) (2)	57
<b>4. 広報・出版活動</b>	
表 8 出版物 (教育普及活動) 一覧	59
表 9 出版物 (調査報告書) 一覧	59
<b>5. 資料の貸出・調査</b>	
表 10 資料の貸出一覧	60
表 11 資料の調査一覧 (1) ~ (3)	60
<b>6. 職員研修・会議</b>	
表 12 職員研修・会議一覧	62
<b>7. 平成 20 年度 考古館月別入館者数調</b>	
表 13 平成 20 年度 考古館月別入館者数調 (平成 20 年 4 月 1 日 ~ 21 年 3 月 31 日)	62

# I 平成 20 年度 松山市埋蔵文化財調査概要

きぬやまきたぐみ  
衣山北組遺跡

所在地 松山市衣山三丁目 356 番 1 の一部  
(包蔵地 No 20)

期間 平成 20 年 10 月 27 日～同年 11 月 17 日

面積 約 100 m<sup>2</sup>

原因 国庫補助市内遺跡発掘調査事業

備考 個人住宅建築に伴う調査

担当 山之内志郎・高尾和長（文化財課）



図 1 調査地位置図

**概要** 本調査地は、松山平野西部、標高約 25 m の微高地に位置する。周辺地域における既往の発掘調査成果により、本調査は古墳時代から古代にかけての集落関連遺構の確認を主目的として行った。調査区は、住宅建築によって消滅する可能性が高い部分を東側と西側の 2 回に分け、東半部を 1 区、西半部を 2 区として実施した。その結果、弥生時代から飛鳥時代にかけての遺構と遺物を検出した。検出した遺構は、掘立柱建物址 1 棟（掘立 1）と柱穴 68 基である。出土遺物は、土器（弥生土器・須恵器）、土製品（土玉）、石製品（砥石・磨石）、鉄製品（鉄鏃）などがある。

掘立 1 は調査区北東部で検出した。主軸を北東 - 南西方向にとる 2 間 × 2 間以上の総柱構造の建物である。規模は北西 - 南東方向 4.50m、北東 - 南西方向 4.00 m 以上を測る建物と考えられ、北東方向に向けて建物が続いていると思われる。この建物の特徴として、柱の構築方法が挙げられる。北辺及び南辺の柱穴は柱列の位置に幅約 25 ~ 40cm 程度溝状に掘り窪めた中に柱穴を立てている。また、西辺に位置する 3 基の柱穴は建物内側から外側に向けて斜めに掘っていることから、そのスロープを利用して柱を立てたのではないかと推定される。各柱穴の埋土は黒褐色土及び黄褐色土である。遺物は土器類が出土している。出土遺物から古墳時代以降の建物と考えられる。

**まとめ** 今回の調査では、主に弥生時代から飛鳥時代にかけての遺構と遺物を確認することができた。従来未確認であった当該時代の集落を確認することができたのは最大の成果である。特に掘立 1 のような構築方法をもつ建物は、樟味四反地遺跡の大型建物（弥生時代終末～古墳時代初頭）があるが、一般的な建物ではなく特殊な祭事などで使用する建物の可能性が考えられる。今後は、周辺地域における新たな調査によって更に集落の構造とその変遷の解明を進めていきたい。（山之内）



写真 1 1 区遺構検出状況（南より）



写真 2 掘立 1 完掘状況（北東より）

あさみつじ  
朝美辻遺跡

所在地 松山市朝美一丁目 1259 番 5 の一部外  
(包蔵地 No 34)

期間 平成 20 年 5 月 1 日～同年 6 月 20 日

面積 約 235 m<sup>2</sup>

原因 緊急調査

備考 宅地造成に伴う調査

担当 吉岡和哉



図 1 調査地位置図

**概要** 今回検出した遺構は、自然流路 (SR) 1 条、溝 (SD) 3 条、土坑 (SK) 5 基、性格不明遺構 (SX) 7 基、小穴 (SP) 8 基がある。このうち SK 1 を除く大半の遺構は古墳時代後期あるいはそれよりも古い時期の遺構であると考えられる。また調査地では二層の遺物包含層を検出し、それぞれ古代および古墳時代後期後半の遺物が出土した。特に古代の遺物包含層からは、円盤高台を有する土師器の杯、底部に高台を有し見込み部に陰刻花紋を有する無軸須恵器の碗が出土している。調査区東半部にて検出した SR 1 は、中層より遺存状態の良好な木製品（蹴放し、木錐）及び植物の種子（モモ核、ウリ類、ヒヨウタン類）、昆虫（甲虫）の羽等と共に 6 世紀前半の須恵器及び土師器が出土し、下層からは弥生時代中期中葉頃の土器が出土した。木製の建築部材“蹴放し”は欠損箇所が少なく、その上面には扉を閉めたときに建物側で受け止める扉当りが削り出され、一枚板でつくられている（写真 2）。大きさは長辺が約 111cm、短辺が 23 ～ 25cm、厚さ（扉当り側）が 6.5 ～ 7cm を測る。また、蹴放しには円柱や辺付にはめ込むために設けられた切り込みが施され、さらに扉当りとかなり接した位置に、方立を組み込む長方形の孔（溝）が左右に 1 つずつ存在する。また、扉の回転軸をはめ込んでいた軸孔や、扉の自重によって形成された弧状のくぼみ等、使用痕跡を観察することにより片開きの扉に用いられたことが分かる。

**まとめ** 弥生時代中期から古墳時代後期の自然流路を検出し、内部より 6 世紀前半の土器と共に状態の良好な木製品や植物の種子、甲虫の羽等が出土した。特に建築部材“蹴放し”は、欠損箇所が非常に少なく、片開きの扉に用いられたことのわかる貴重な資料である。また内面に陰刻花紋を有する無軸須恵器の碗は、地方で出土することが稀で、背後に朝美澤庵寺等の存在を考える必要がある。



写真 1 蹴放し出土状況



写真 2 蹴放し取り上げ状況

## どうごきたしろ 道後北代遺跡

所在地 松山市道後北代 1266 番 1 の一部

(包蔵地 No. 68)

期間 平成 20 年 11 月 17 日～平成 21 年 2 月 16 日

面積 約 590 m<sup>2</sup>

原因 緊急調査

備考 共同住宅建設に伴う調査

担当 水本完児



図 1 調査地位置図

**概要** 調査地は松山平野北東部、石手川扇状地の扇央付近（標高 32 m 前後）に立地する。周辺では文京遺跡や道後今市遺跡などがあり、縄文時代から中世までの遺構や遺物が確認されている。

遺構は灰黄褐色土、にぶい黄橙色土、黄橙色土上面での検出であり、掘立柱建物 4 棟、土坑 9 基、溝 9 条、自然流路 3 条、柱穴 209 基のほか、水田耕作に伴う足跡を検出した。遺物は遺構及び包含層中から縄文土器、土師器、須恵器、陶磁器、石器、鉄器が出土した。

灰黄褐色土上面では、掘立柱建物や溝、土坑を検出した。検出した 4 棟の建物は 1 × 2 間規模の小規模なもので、柱穴埋土中には土器片のほか、炭化物や焼土が大量に含まれていた。また、溝は L 字状に折れ曲がる形状のものがあり、区画溝あるいは水田耕作に伴う水路的なものと推測される。灰黄褐色土下にあるにぶい黄橙色土上面では、調査地北東側にて牛馬のものと思われる無数の足跡を検出した。調査地北方にある道後今市遺跡 9 次調査においても水田址が検出されていることから、調査地北方には中世段階の水田が広く展開しているものと考えられる。最下層である黄橙色土上面からは、土坑 1 基と自然流路を検出した。流路は南北方向に延びており、SR 3 からは弥生時代中期から後期の土器片が出土した。一方、SR 2 からは古墳時代中期前半に時期比定される完形に近い壺や高杯が、流路上位に据え置かれた状態で出土しており、出土状況から何らかの祭祀儀礼が行われたものと推測される。このほか、黄橙色土中からは縄文時代晩期の浅鉢片が数点出土した。

**まとめ** 今回の調査で検出した掘立柱建物、溝、足跡は鎌倉時代後期から室町時代前期、13 世紀後半から 14 世紀前半頃の遺構であり、調査地や周辺地域において農村的な集落が営まれていたものと推測される。このことは、道後地区における中世集落様相を解明するうえで貴重な成果といえる。



写真 1 完掘状況（南より）



写真 2 SK 2 遺物出土状況（南東より）

まつやまじょうくろもんあと  
松山城黒門跡4次調査

所在地 松山市堀之内（史跡松山城跡）  
期 間 平成20年8月11日～同年10月27日  
面 積 約45m<sup>2</sup>  
原 因 史跡整備に伴う確認調査  
備 考 城山公園整備事業に伴う確認調査  
担 当 楠寛輝（文化財課）



図1 調査地位置図

**概要** 松山城大手登城道の城山への入口となる黒門跡は、石垣に大きな孕み出しが確認され、修復工事を行うこととなった。それに伴い2度の事前調査と解体調査を行い、孕み出しの原因が、元々の積み方が悪かったところに、石垣内部へ雨水が流入したためであることや、近世段階では門の左右で石垣の高さが異なっていたこと、この石垣が近世後半に大規模に改修されたこと等、石垣の修復方針や黒門跡の歴史を考える上で、大きな成果を得た。今回はこれらを踏まえ、現在進捗中の三之丸跡（堀之内）整備工事の基礎データとして、確認されていない門礎石や、黒門と接していた堀や小普請所等の三之丸関連遺構の確認を目的に、4次調査を行った。その結果、期待された小普請所の関連遺構は確認されなかったものの、黒門の礎石の可能性のあるビットや石（トレンチ3）、東石垣南面の深さ3mを超える堀（トレンチ7）等が想定どおり確認された。また、西石垣の西面石垣が地下に2.5m以上続く一方、そのかなりの部分が近世段階で既に埋められていたこと（トレンチ4、5）や、石垣根石の表面調整の観察から、近世段階での地表高がH=22.1m前後であること（トレンチ6、7）等が確認された。

**まとめ** 今回の調査では、期待された黒門や黒門と接していた三之丸関連遺構だけでなく、近世段階での地表面や、近世前半には黒門の左右の石垣は6mを超えていたこと、また、その後に大規模な造成でその一部が埋められたことが確認されるなど、今後の三之丸跡の整備を考える上で、大きな成果を得た。今後は、現在進捗中の三之丸跡の整備工事に、これらの成果を生かしていきたい。また、黒門跡石垣の修復工事は、今年度無事完成した。修復にあたっては、できる限り確認調査の成果を生かすとともに、近代に設けられた西石垣の下段は、あえてそのままとした。これは、できる限り推定復元を避けるとともに、近代以降の改修も大切な黒門の歴史である、と考えたからである。



写真1 堀及び堀土手検出状況（東より）



写真2 石垣修復工事完成状況（南東より）

まつやまじょうさんのみるあと  
松山城三之丸跡 10 次調査

所在地 松山市堀之内  
(市営競輪場跡地南部、財務局跡地)  
期間 平成 20 年 7 月 24 日～同年 10 月 31 日  
面積 120 m<sup>2</sup>  
原因 史跡整備に伴う確認調査  
備考 城山公園（堀之内地区）整備事業  
担当 西村直人（文化財課）



図 1 調査地位置図

**概要** この調査は、松山城三之丸元小普請所の南辺及び西辺の屋敷境、並びに東御門広場（仮称）の南限を確認することを目的として実施した。

遺構は、市営競輪場跡地において元小普請所の屋敷境とみられる柱穴列及び石列、財務局跡地において東御門広場南端の区画溝及び大型土坑などを確認した。遺物は、江戸時代～近代の瓦、陶磁器、金属製品、石製品及びガラス製品など出土した。陶磁器は、肥前系、京・信楽系、瀬戸・美濃系が多くを占める。元小普請所の3条の柱穴列のうち、柱穴列2及び柱穴列3は概ね並行しており、柱間も約1.35～1.45 m（四尺五寸～四尺七寸）と同間隔を保つ。柱穴はいずれも東西約30 cm、南北35～50 cmを測り、梢円形を呈する。前後関係は柱穴列3が先行し、両遺構とも南辺の屋敷境と考える。また石列は、検出長4.3 mを測り、石材及び石積方法が北部、中部、南部で異なる。北部はその構造から、溝の底面もしくは土壌基礎とみられることから、元小普請所の西辺の屋敷境と考える。東御門広場の区画溝は、検出長約2.5 mで、幅は断面観察により約45 cmであると推測される。石列などは確認できなかったものの、この遺構を南北の境として整地層が異なることから、区画溝とした。また大型土坑は、検出規模が南北長約3.15 m、東西長約2.5 m（推定）、深さ約80 cmを測る。17世紀初頭～前半の肥前系及び瀬戸・美濃系陶器が出土している。

**まとめ** 今回の調査箇所は擾乱が著しく、全体として遺構の残りが良好ではなかった。そのため、これまでの調査の成果も考慮し、元小普請所の南辺及び西辺を判断した。また、柱穴列2及び3の時期及び柱間にについては、これまでの調査で確認された江戸時代の板塀跡の柱間に比べて間隔が狭いことから、今後の調査成果を踏まえた上で再検討する必要がある。



写真 1 石列（南西より）



写真 2 大型土坑（南西より）

まつやまじょうさんのまるあと  
松山城三之丸跡 11 次調査

所在地 松山市堀之内（南北園路）  
期 間 平成 20 年 9 月 24 日～平成 21 年 1 月 16 日  
面 積 約 73 m<sup>2</sup>  
原 因 史跡整備に伴う確認調査  
備 考 城山公園整備事業に伴う確認調査  
担 当 加島次郎



図 1 調査地位置図

**概要** 今回は、史跡「松山城跡」内の三之丸跡（城山公園堀之内地区）整備事業に伴う確認調査で、11回目の調査である。調査地は市営野球場跡地と競輪場跡地との間にある現況の園路部分の一角に該当し、調査目的は江戸時代の土地区画に関連する遺構を確認することにあった。この目的を達成するために、既往の確認調査成果と古絵図を参考に、三之丸御殿の南に配された会所と武家屋敷の土地区画の一端を示す「東西道路 2」、及びこれに直角方向の南に続く「南北道路 6」の存在が予想される地点にいくつかの小規模なトレチを設定し、道路側溝の検出を試みた。その結果、当該期の遺構面は明治期以降の土地開発行為によって大きく削平を受けていたことが確認されたものの、一部で調査目的に掲げた道路遺構に伴う側溝と整地層のほか、巨大なごみ穴と見られる大型土坑が近接して確認され、道路遺構の存続時期を示唆するあらたな情報を獲得することができた。遺構の遺存に比して、遺物のそれは芳しくはないものの、道路遺構の下限を考える際に参考となる陶磁器のほか、当時の食生活を示唆する貝殻や魚骨、獸骨とみられる動物遺存体がわずかに出土している。

**まとめ** 今次調査の主な成果は、三之丸中央部において江戸期（近世）の土地区画割りに関する知見を得たことにある。東西道路 2、南北道路 6 に付随する道路境界を示す側溝を確認したことにより、三之丸御殿の南に配された会所と武家屋敷に係る地割の様相を具体的に理解できるようになった。このうち、今次調査で明らかとなつた南北道路 6 の位置については、その一部が既存園路と概ね合致することが初めて確認された。この知見は松山市が進めている城山公園（堀之内地区）の整備に有効に活用される可能性が高いと思われる。

課題には、①計画的に配置された道路による地割の方向性、②道路とごみ穴の構築年代と、時間的前後関係、③三之丸内の道路に付随する主要側溝の雨水経路復元等が挙げられる。これらについては、今後の整理等作業をはじめ、既往の確認調査成果を踏まえた総合的検証や、古絵図との照合が必須であることはいうまでもない。今後も継続的な整理作業等の実施が求められることになる。なお、調査情報の詳細については、報告書で明らかにする所存である。



写真 1 道路側溝（北上方より）

まつやまじょうさんのみのまるあと  
松山城三之丸跡 12次調査

所在地 松山市堀之内（史跡松山城跡）  
期 間 平成 20年12月10日～平成 21年3月27日  
面 積 約 145 m<sup>2</sup>  
原 因 史跡整備に伴う確認調査  
備 考 城山公園整備事業に伴う確認調査  
担 当 高尾和長・西村直人（文化財課）



図1 調査地位置図

**概要** 本調査は、松山市の「城山公園（堀之内地区）整備事業」に伴う確認調査である。松山市では、平成13年から国庫補助を受け、堀之内に遺存する江戸期の遺構群の範囲、性格、内容を把握し整備の基本的資料を提供することを目的に発掘調査を実施している。今次の調査は、小普請所東側の石垣と小普請所の建物に関する遺構、黒門から南に伸びる南北道路を確認することを目的とした調査である。調査方法は、これまでの調査と同じく小規模なトレンチを11ヶ所設定して行った。

検出された遺構は、小普請所石垣、側溝と側溝敷石、歩兵第二十二連隊兵舎跡を検出した。小普請所石垣は、築石を1段5石（根石）検出した。築石の最大規模は、長さ100cm、幅50cm、厚み50cmを測る。材質はすべて花崗岩である。石垣1段（根石）の裏込め掘り方幅は、検出面で40cm～60cmを測る。裏込めには5cm～25cmの栗石（川原石、砂岩）を密に使い、土はほとんど伴わない。側溝は、小普請所石垣の東に並行する位置にある。規模は、残存している敷石幅から想定すると60cm以上と考えられる。敷石には、25cm～55cmの平石を敷き詰めている。材質はすべて砂岩である。遺物は瓦片が出土している。

**まとめ** ①絵図に描かれていた小普請所の東側石垣が確認できること。②小普請所東側の石垣を検出したことにより、過去の調査で検出した小普請所の西側、南側石垣と合わせて小普請所の位置と南北道路の幅が想定できること。③今回検出した小普請所石垣が西側、南側の石垣に比べ大きな石を使用していること。④小普請所内の建物は削平を受けており建物配置の解明が困難であること。この4点を確認できたことが今回の成果と考える。今後は、小普請所内北側の石垣の確認調査を実施し、三之丸整備のための資料の充実を図りたい。（高尾）



写真1 小普請所石垣と側溝敷石（南より）



写真2 小普請所石垣と側溝敷石（南東より）

## たるみしたんじ 樽味四反地遺跡 20次調査

所在地 松山市樽味四丁目 219番3、220番1の各一部  
期間 平成20年7月1日～同年10月31日  
面積 約418m<sup>2</sup>のうち約143m<sup>2</sup>  
原因 国庫補助市内遺跡発掘調査事業  
備考 重要遺跡確認調査  
担当 武正良浩



図1 調査地位置図

**概要** 今回の調査は、平成19年度に調査を実施し、本調査地に接する樽味四反地遺跡19次調査に引き続き、総柱構造を呈する3棟の大型建物跡に関する遺構・遺物と遺跡範囲の確認、及び過去に実施された周辺調査に関わる遺構の確認を主目的として行い、掘立柱建物跡1棟、竪穴住居（建物）址5棟、土坑14基、柱穴331基、性格不明遺構2基、中世墓7基を検出した。

弥生時代後期～古墳時代前期に位置付けられるSB2（竪穴建物址）の半分は西隣する前述の19次調査地内に位置する。平面プランは方形または長方形を呈すると考えられ、検出規模は南北6m×東西2.6m、深さ85cmを測る。内部施設として周壁溝、高床部、溝、柱穴、土坑等を確認した。遺物は畿内系甕形土器片、鉢形土器等が出土した。

古墳時代中期～古墳時代後期の遺構として4棟の竪穴住居址（SB）が検出された。このうちSB1は方形を呈し、規模は4.8m×4.6mを測る。主柱穴は4基確認し、北辺中央部には造り付けの竈が設置される。燃焼部からは支脚に使用したと思われる高環脚部が出土した。住居址床面には貼り床が施される。遺物は土器小片のほかに袋状鍛造鉄斧1点が出土した。法量は全長18.5cm、最大幅8cm、重量1kgである。ほぼ完全に残る優品で、西日本有数の大きさである。

中世の遺構として7基の土坑墓（ST）を確認した。このうちST2内から人骨と副葬品である土師質壺3点を検出した。

まとめ 調査成果の一つは、SB2内から見つかった土器の帰属時期と北西に位置する3棟の大型建物の時期が重なる可能性が出てきたことである。また、多時期の遺構が確認され、古墳時代から中世にかけての樽味地区の様相が伺える貴重な資料を得ることができた。



写真1 2区遺構全景（北より）



写真2 SB2 床面検出状況（南東より）

たるみたかぎ  
樽味高木遺跡 16 次調査

所在地 松山市樽味四丁目 265 番 1 の一部  
期 間 平成 21 年 1 月 21 日～同年 1 月 27 日  
面 積 11.6 m<sup>2</sup>  
原 因 緊急調査  
備 考 店舗広告塔設置  
担 当 栗田茂敏



図 1 調査地位置図

**概要** 調査地は、石手川中流域左岸、現流路の南 300 m の新期扇状地上、標高 41 m 付近に位置している。周辺には、弥生時代後期から古墳時代にかけての集落が濃密に展開しているが、これらの集落遺構のうち特に注目されるのが、樽味四反地遺跡 6 次・8 次・13 次調査で検出された 3 棟の超大型掘立柱建物である。これらはともに古墳前期初頭に属する総柱の建物で、特別なエリアに突出した規模で設けられた神殿的建物である可能性を指摘されており、調査地周辺は、平野でも最も重要な遺跡群のひとつとなっている。

調査では、溝 1 条、柱穴 7 基、土坑 1 基が検出された。これらの遺構のうち、切り合ひ関係や埋土から、検出された遺構の中で最も古いものは溝である。遺物の出土がないので確たる時期を述べることはできないが、周辺の調査地での例と照らしあわせて考えると、黒色シルトを埋土とするところから、弥生時代の遺構の可能性が高い。遺構検出段階で採集された土器片には、弥生時代中期あるいは後期の遺物が存在しているので、これらの遺物が示す時期、中期後半から後期にかけてのものであろう。柱穴には黒色シルトに地山の赤茶褐色土を埋土とする方形に近いプランのもの 1 基と、暗灰褐色シルトを埋土とする 6 基とのふたとおりがある。前者の埋土中には、土師器塊半截品が正位置で埋置されていた。この塊から、この柱穴および、これによって構成されていたであろう建物は、5 世紀代のものと考えられる。また、建物を復元するには調査区が狭小すぎるが、同質の暗灰褐色シルトを埋土とする他の 6 基は、近接した時期のものということができる。出土遺物から、これら 6 基の柱穴は 7 世紀前半を上限とする遺構群と考えられる。調査区南東端で検出された土坑 S K 1 は直径 70 cm、深さ 10 cm を測る不整円形のもので、その北半のみの検出である。灰褐色の砂質土で埋まっており、底部回転糸切りによる土師器塊を出土している。この遺物から 13～14 世紀の遺構と考えられる。まとめ 今回調査された範囲は、狭小であったにもかかわらず、弥生時代から中世までの各段階の遺構が検出された。南東直近の 1 次調査地では、古墳時代中期の住居址群と弥生時代の遺物包含層、南直近の 7 次調査地では、弥生時代中期後葉の大型円形住居址および古墳時代中期前半代の住居址群が調査されており、本調査地もこの集落の一角に相当することが確認された。



写真 1 調査状況全景（西より）

## くわばらひがしいなば 桑原東稻葉遺跡

所在地 松山市桑原二丁目 967 番 1 の一部  
期 間 平成 20 年 12 月 1 日～平成 21 年 1 月 30 日  
面 積 188 m<sup>2</sup>  
原 因 緊急調査  
備 考 宅地造成工事に伴う調査  
担 当 武正良浩



図 1 調査地位置図

**概要** 調査地は、松山市指定埋蔵文化財包蔵地（松山地区）「No 81 檜味造物包含地」の南東端に位置する。周辺ではこれまでに数多くの調査が行われ、弥生時代や古墳時代を中心とした集落関連遺構が確認されている。今回は、宅地の造成工事に伴い、将来的に遺跡と隔離される進入道路部分について発掘調査を実施した。検出した主な遺構は、堅穴住居址（S B）3棟、掘立柱建物跡（掘立）3棟、欄列（S A）2条、土坑（S K）2基、溝（S D）7条、柱穴（S P）40基である。

S B 1 は南西コーナー部を含む一部が検出された。検出規模は、南北 798cm、東西 525cm 以上、深さ 9.6cm を測る。建物の基軸は真北から西方へ約 20 度振る。また、内側には貼り床が施される。内部遺構として周壁溝、主柱穴 2 基、土坑 1 基、間仕切り溝、小ピット等が検出された。遺物は小型丸底壺、高杯、滑石製の白玉、土製の丸玉等が出土した。出土遺物から 5 世紀前半に埋没したものと考える。S B 2 の検出規模は長軸 580cm、短軸 550cm、深さ 11cm を測る。建物の基軸は真北から西方へ約 30 度振る。内側には貼り床が施される。内部遺構として周壁溝、主柱穴 4 基、焼土痕等が検出された。また周壁溝の内部及び周辺から小ピットが多数検出された。遺物は土師器、須恵器、滑石製鏡面文紡錘車、織（ふいご）羽口、刀子が出土した。紡錘車の上面は使用の為か摩耗が顕著である。底面には外周から綾杉文、格子綾文が明晰に残る。S B 2 が埋没した時期は、出土した須恵器、紡錘車から 6 世紀末～7 世紀初頭以降と考える。

**まとめ** 本調査地が位置する桑原・檜味地区は近年の松山市道檜味溝辺線道路改良工事に伴う発掘調査や重要遺跡確認調査などにより、弥生～古墳時代の新しい発見が相次いでおり、全国的にも注目されている。今後行われる調査及び既存データを詳細に整理・検討することにより更に各時代の集落構造と変遷が明らかになるものと思われる。



写真 1 S B 1 完掘状況



写真 2 S B 2 完掘状況

## つかもと 東本遺跡 11次調査

所在地 松山市東本一丁目 116番1、116番2、  
116番9、117番1の各一部（包蔵地No.83）  
期間 平成20年8月1日～同年9月26日  
面積 約165m<sup>2</sup>  
原因 緊急調査  
備考 民間車検場建設に伴う調査  
担当 相原浩二



図1 調査地位置図

**概要** 本調査は、民間車検場建設に伴う事前の発掘調査である。調査地は、石手川左岸の扇状地上（標高約36.40m）に立地している。調査地周辺は、道路改良工事や宅地開発などに伴う発掘調査が数多く実施され、弥生時代後期の堅穴住居を主として弥生時代から中世までの集落関連遺構や遺物が見つかっている。南側に接する道路部でも東本遺跡9次、10次調査が行われ、弥生時代後期の堅穴住居がそれぞれ1棟見つかっている。調査地内の南東部には、東本遺跡9次調査で見つかった堅穴住居の一部が調査地内に及んでいるが、開発区域となっていないため、この堅穴住居の調査は行っていない。調査は、開発によって遺構が失われる恐れのある部分とし1区、2区の二区画に分けて行った。

検出した遺構は、弥生時代後期～中世にかけてのもので堅穴住居1棟、土坑6基、柱穴35基、溝2条である。このうち2区で検出した遺構は柱穴1基である。遺物は弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、青磁、石器などが出土している。このうち注目する遺構には、弥生時代後期の堅穴住居（SB1）がある。SB1は、古墳時代の溝に切られているが、遺存状態は良好であった。住居の平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸（南北）5.88m、短軸（東西）5.55m、壁高0.42mを測る。埋土中には炭や焼土が多くみられた。住居内施設は4本の主柱穴のほか、入口に伴うと考えられる柱穴2基、炉址、周壁溝などを検出した。遺物は壺、甕、鉢、器台などの土器類のほか、石庖丁、砥石、鉄鏃などが出土している。時期は、出土遺物より弥生時代後期後葉と考えられる。

**まとめ** 今回の調査では、限られた調査区であったが堅穴住居1棟を検出することができた。東本遺跡における弥生時代後期の集落の広がりを確認するとともに、堅穴住居の平面形態と住居内施設の構築法や廃絶状況など堅穴住居に関する貴重な情報を得ることができた。



写真1 SB 1遺物出土状況（北より）



写真2 完掘状況（西より）

なかむらまつだ  
中村松田遺跡5次調査

所在地 松山市中村二丁目50番1、50番2、53番1  
の各一部（包蔵地No 161）  
期間 平成20年10月16日～平成21年1月31日  
面積 573.165 m<sup>2</sup>  
原因 緊急調査  
備考 市道中村桑原線道路改良工事に伴う調査  
担当 宮内慎一



図1 調査地位置図

**概要** 調査地は、石手川左岸の扇状地上（標高28m）に立地する。周辺では中村松田遺跡（1～4次調査）や小坂遺跡などの発掘調査が実施され、弥生時代後期から中世までの集落址や生産址が確認されている。遺構は、竪穴住居2棟〔弥生後期後葉〕、溝11条〔弥生前末期～中世〕、土坑8基〔中世〕、井戸3基〔中世〕、柱穴209基を検出した。遺物は遺構及び包含層中より弥生土器〔前期・後期〕、土師器〔古墳～近世〕、須恵器〔古墳～中世〕、瓦器〔中世〕、陶磁器〔中世〕、瓦〔古代～中世〕、石器、木器、鉄器、ガラス玉、種子、骨が出土した。

注目される遺構は、井戸SE201とSE202である。SE201は上部が削平されており、検出時は掘り方が円形を呈し、規模は上場径3m、下場径1m、深さ1.6mを測る。井戸は段掘り構造となっており、井戸下部には径10～20cm大の河原石が5～6段積まれ、井戸上位に向けて径20～30cm大の比較的大型の石が弧状に積まれている。遺物は井戸上位から土師器片や陶磁器片等の土器片が出土したが、井戸下部からは完形の土師器壺、井戸基底部からは鉄製の小刀がほぼ完全な状態で出土した。出土品の特徴より、SE201は13世紀後半頃の井戸と考えられる。また、SE202は基底部のみが遺存しており、掘り方は円形を呈し、規模は径1m、深さ60cmを測る。井戸内からは完形の土師器壺や皿、瓦器壺が合わせて10数点出土したほか、曲物や杓子形木製品などの木器類が数多く出土した。出土品より、SE202は13世紀前半頃の井戸と考えられる。

**まとめ** 今回の調査では、井戸をはじめ中世の遺構や遺物を数多く確認した。中村地区や周辺地域における中世集落の様相は不明な点が多く、井戸の構造はもとより、中世における集落構造や変遷を解明するうえで、様々な遺構や遺物の検出は貴重な調査成果といえよう。



写真1 遺構検出状況（北東より）



写真2 SE201 検出状況（北東より）

## えだまつ 枝松遺跡 11 次調査

所在地 松山市枝松四丁目 229 番 1 の一部外  
(包蔵地 No. 83)

期間 平成 20 年 3 月 17 日～同年 5 月 30 日

面積 約 350 m<sup>2</sup>

原因 緊急調査

備考 公園整備による便益及び管理施設の建設

担当 相原浩二



図 1 調査地位置図

**概要** 本調査は、枝松公園の整備に伴う事前の発掘調査である。調査地のある枝松遺跡包含地内では、近年道路改良工事や宅地開発など都市的開発に伴う発掘調査が実施され、弥生時代から中世までの集落関連遺構や遺物が見つかっている。今回の調査は、遊具の設置やトイレの建替えにより遺構が破壊される可能性のある部分を対象として、1 区から 10 区までの 10 区画に分けて行った。各調査区は以前に遊具などが設置されていた場所のため、遺構確認面まで開発の影響をうけている。このため、調査区においては遺構・遺物とも検出しなかった調査区もある。調査で検出した主な遺構は竪穴住居 1 棟、土坑 1 基、柱穴 27 基、溝 1 条である。遺物は弥生土器、土師器、青磁などが出土している。

弥生時代の遺構は竪穴住居 (S B 1) がある。S B 1 は、6 区での検出で住居北側の半分以上が調査区外となる。現代坑のため大きく削平され遺存状態は悪い。検出規模は東西 3.52 m、南北 1.90 m、壁高 0.02 m～0.08 m を測る。平面形態は隅丸方形か隅丸長方形を呈するものと考えられる。埋土中には焼土が多くみられた。主柱穴などの住居内施設は現代の削平のため検出できなかった。遺物は土器が少量出土しており、その形態より弥生時代後期後葉である。中世の遺構は主に 3 区と 6 区で検出している。3 区では土坑 1 基、6 区では柱穴約 20 基を検出している。遺物は少量ながら青磁や土師器、瓦器が出土している。時期は、出土遺物や埋土色より 14 世紀以降と考えられる。

**まとめ** 今回の調査では弥生時代と中世の遺構・遺物を確認した。弥生時代では竪穴住居を検出し枝松遺跡における居住域の広がりを確認することができた。中世では、6 区で柱穴を多数検出したが建物等についての復元はできなかった。中世の遺構は、検出状況より 6 区の南東部に広がるものと推察される。



写真 1 6 区完掘状況 (南より)



写真 2 調査地全景 (南より)

## 三町遺跡

所在地 松山市三町一丁目 412 番 1 の一部

(包蔵地 No. 85)

期間 平成 20 年 11 月 25 日～同年 12 月 5 日

面積 約 55 m<sup>2</sup>

原因 緊急調査

備考 宅地造成に伴う調査

担当 相原浩二



図 1 調査地位置図

**概要** 本調査は、宅地造成に伴う事前の発掘調査である。調査地は松山市の指定する「No. 85 三島神社古墳跡」に所在する。前方後円墳である三島神社古墳跡より、川附川を挟んだ南約 250 m に位置する。調査区域は開発によって失われる部分とし、1 区から 3 区までの 3 区画で調査を行った。調査面積は 1 区約 53.4 m<sup>2</sup>、2 区約 0.8 m<sup>2</sup>、3 区約 0.8 m<sup>2</sup> の合計約 55 m<sup>2</sup> である。

遺構は 1 区だけでみつかり、2 区と 3 区からは遺構・遺物とも検出しなかった。検出した遺構は柱穴 6 基、溝 1 条である。遺物は弥生土器、土師器、須恵器、瓦器、砥石などが出土している。遺構の時期は、溝から出土した鍋の口縁部形態より 14 世紀～15 世紀代に比定される。柱穴から遺物の出土はなかったが、溝と埋土色が同じであることから溝と同時期のものと考えられる。このほか、1 区の南側では緩やかに南方に下る落ち込み部を検出している。落ち込み部には灰褐色土が堆積し、土中から弥生土器や須恵器が出土した。

**まとめ** 今回の調査は、限られた調査区ではあったが中世の溝や柱穴などを検出することができた。柱穴は 1 区の西側に広がる様相を呈しており、調査地の西側には、掘立柱建物など中世集落関連の遺構が展開するものと推察される。1 区で検出した落ち込み部の性格は不明であるが、中期初頭から後期にかけての弥生土器や古墳時代後期の須恵器が出土していることから近隣に弥生時代、古墳時代の遺跡が存在するものと考えられる。三町内では初例の発掘調査であり、遺跡の様相や地理的環境を知る上で貴重な資料を得られた。



写真 1 遺構検出状況（東より）



写真 2 完掘状況（南西より）

## すじかい 筋違Q遺跡

所在地 松山市福音寺町 486 番 1 の一部  
(包蔵地Na 116)

期間 平成 20 年 8 月 1 日～同年 9 月 30 日

面積 約 150 m<sup>2</sup>

原因 国庫補助事業市内遺跡発掘調査

担当 吉岡和哉・高尾和長（文化財課）



図 1 調査地位置図

**概要** 調査は北側と南側の 2 回に分けて実施し、13 世紀の集落関連遺構を確認した。検出した遺構には掘立柱建物跡 3 棟、地鎮造構 1 基、柱列 1 列、柱穴 100 基、土坑 1 基、溝 1 条がある。掘立 1 は、主軸をほぼ座標北にとる 1 間 × 3 間の調査建物である。構成する柱穴が他の掘立と比較すると大きく、内部より土師器及び瓦器碗等の破片と共に、鉄釘、強い熱を受けた土塊が出土している。掘立 2 は、主軸をほぼ座標北にとる 1 間 × 2 間の建物跡で、掘立 1 及び地鎮造構 1 と平面的な切り合い関係を有する。掘立 3 は、主軸をほぼ座標北にとる 1 間以上 × 2 間以上の建物跡で、掘立 2 の位置関係や建物を構成する柱穴の間隔等が共通することより、掘立 2 と同時期の建物跡である可能性が高い。地鎮造構 1 は、掘立 1 及び掘立 2 の南東側にて検出した浅い掘り込みで、内部より 10 個体以上の土師器の皿及び杯が完全あるいは完全に近い状態で出土した。溝 1 は南北方向にのびる溝で、出土遺物には土師器の皿及び杯、瓦器碗、白磁皿等がある。埋土中には、強い熱を受けた土塊が多く含まれ、また掘立 1 とほぼ平行に掘り込まれることより、掘立 1 と同時並存していた可能性が高い。

まとめ 調査地の近隣では、筋違 A・B・C・G・K・L 遺跡、北久米遺跡等で 12 世紀～14 世紀の集落跡を確認しており、特に筋違 B 遺跡や同 L 遺跡、北久米遺跡 2 次調査では屋敷を取り囲むと考えられる長方形の区画溝を検出し、集落構造が明らかになりつつある。今回確認した掘立 1 は、柱穴が他と比べて大きく、その規模より集落を構成する主要な建物の一つであると考えられ、また溝 1 は、掘立 1 を内包する屋敷を区画する溝である可能性が高い。掘立 1 及び溝 1 の内部より出土した強い熱を受けた土塊は、その中に平らな面を有する個体を含み、また細長い空洞部分が見られることより、本来は建物の壁面等に平らに塗られたスサ混じりの粘土であった可能性がある。（吉岡）



写真 1 北側（1 区）調査状況（南より）



写真 2 南側（2 区）地鎮造構 1（北西より）

みなみくめまち  
南久米町遺跡 6次調査

所在地 松山市南久米町 475 番 1、475 番 3 の各一部（包蔵地 No. 126）  
期間 平成 20 年 5 月 1 日～同年 5 月 31 日  
面積 約 91 m<sup>2</sup>  
原因 民間の宅地造成  
備考 本発掘調査  
担当 橋本雄一



図 1 調査地位置図

**概要** 平成 8 年度に調査が行われている久米才歩行遺跡 2 次調査地の東隣において発掘調査を実施した。その結果、中近世を中心として古墳時代後期から古代も含む時期の遺構を多数検出した。

北東部の 2 区で検出した S R 001 は自然流路であると考えられるが、幅広く浅い低地状の地形の底に深さ 10 ~ 20 cm 程度の人为的に掘り廻された可能性がある構造の遺構が認められた。北壁沿いの最下部から、6 世紀代の須恵器の坏身の完形品が 1 点出土している。

1 区で検出された柱穴の多くは近世のものである。建物として復元できたものは多くない。掘立 001 は灰白色の埋土の柱穴で構成される建物で、回転糸切り底の土師皿が出土している。付近に展開する同様の特徴の柱穴の多くが、掘立 001 と同様、中近世に属すものと考えられる。

溝のうち正確な時期がわかっているものは、1 区南端に位置する S D 001 だけである。これ以外の溝は、近現代の耕作に伴うものである。S D 001 から、14 世紀以降の土師皿や羽釜の脚が出土していることに加えて、現況の東西道路北辺沿いに直線的に掘り込まれていることから、中世の地割のための溝であると考えている。調査地の南辺を東西に通る現況の市道の原形にあたる施設がこの道路の真下に存在する証拠と捉えている。

古代以前に遡る可能性が考えられる遺構としては、1 区中央部の掘立 002 と同北部の S K 001 があげられる。出土遺物から、前者は古墳時代後期、後者は弥生時代前期末から中期初頭ころに属するものと考えられる。

まとめ 西隣の久米才歩行遺跡 2 次調査地においては、江戸時代の水琴窟が検出されていることから、付近にはある程度上流階層の屋敷があったものと考えられる。ただし、今次の調査によって検出された柱穴がこれと関連するものか、あるいは時期的に差異のある別の施設に伴うものか、解明するには至らなかった。



写真 1 1 区全景（北より）

くめたかばたけ  
久米高畠遺跡 71次調査

所在地 松山市来住町 910 番の一部  
(包蔵地Na 127)

期間 平成 20 年 11 月 17 日～平成 21 年 2 月 28 日

面積 約 270 m<sup>2</sup>

原因 国庫補助事業重要遺跡確認調査

担当 吉岡和哉・楠寛輝（文化財課）



図1 調査地位置図

**概要** 調査は、特に『史跡久米官衙遺跡群 久米官衙遺跡 来住廃寺跡』内の施設である「回廊状遺構」の西方に古代の官衙関連施設が存在していたか否かを確認することを主目的として実施した。検出した遺構には竪穴式住居址 1 基、土坑 13 基、柱穴 97 基、溝 8 条、倒木痕 2 基がある。調査では、主に弥生時代前期末から中期初頭の土坑、弥生時代後期の土坑および、弥生時代後期の竪穴式住居址、古墳時代後期以降の土坑、中世の土坑、近世以降の溝、弥生時代以前の倒木痕などを確認した。SB 1 は、住居の中央部よりもや南よりの位置に楕円形の炉跡を有する直径 6 ~ 7 m の円形住居で、内部を 4 本、外側を環状に配置した 8 本の柱で支える構造をしていたものと考えられる。柱穴より弥生土器片、炉跡より弥生土器片や砥石、炭化物及び焼土を出土しており、出土遺物より弥生時代後期に属すると考えられる。SK 4 は弥生時代後期の土坑 SK 1 と切り合い関係を有する土坑で、内部より弥生時代前期末から中期初頭の土器片、サスカイトの剥片等が出土しており、特に南東部上層よりガラス小玉が 1 点出土した。

まとめ 「回廊状遺構」の西方に官衙関連の施設を確認することはできなかった。北側に隣接する 69 次調査では、官衙に関連する掘立柱建物跡を 1 棟確認したことより、周辺が官衙関連施設の展開する南西端にあたることが推定されていたが、71 次調査の結果その推定が継承されることになる。官衙以外の主な成果としては、弥生時代前期末から中期初頭と考えられる SK 4 よりガラス小玉が出土しており、これが上からの混入でないとすると松山平野で見つかっているガラス玉の中で最も古い事例となる。また、今回 8 本の柱穴によって囲まれた部分の中央付近に炉跡を確認したことにより、「8 本前後の柱穴が環状に巡る構造物」が桑原地区等で多く確認されている弥生時代後期の円形竪穴式住居址である可能性が高いことを裏付けることができた。（吉岡）



写真1 SK1・4 調査状況（北より）



写真2 SB 1 調査状況（北より）

## きしはいじ 来住廃寺 35 次調査

所在地 松山市来住町 850 の一部  
期 間 平成 20 年 5 月 12 日～同年 8 月 13 日  
面 積 約 158 m<sup>2</sup>  
原 因 重要遺跡確認調査  
備 考 来住廃寺講堂跡推定地  
担 当 岸見泰宏（文化財課）



図 1 調査地位置図

**概要** 調査地は、来住廃寺金堂基壇の北東方にあたり、34 次調査地の南隣接地にあたる。同調査において、瓦廃棄土坑等来住廃寺に関連する遺構が確認されたことから、延長部分の確認を目的として調査区を設定した。来住廃寺に関連する遺構としては、一本柱壠と瓦廃棄土坑、溝を確認した。一本柱壠は、東に 2° 方位を逸れるが、金堂中軸線より東に約 25m の位置で確認された。検出されたすべての柱穴に東方向の抜取痕跡が残されており、2箇所からは 10 世紀初頭の土師器挽が出土している。瓦廃棄土坑としては、3 基が確認され、うち 2 基は 34 次調査で確認されたものの延長部にあたる。出土した土器の多くは 10 世紀代初頭のものと考えられる土師器挽であり、この時期に廃棄されたものと考えられる。内 1 基からは時期不明だが円柱形瓦塔の底部が出土している。溝は、金堂北側の中軸線上に位置しており、34 次調査で確認された溝の南延長部に当たり、下層から多くの瓦が出土した。なお、34 次調査では、溝の底部から西側の立ち上がり部分に小土坑が南北に並んでいる状況が確認されたが、本調査では確認されなかった。そのほか、来住廃寺成立以前の遺構としては、掘立柱建物 3 棟と溝が確認された。また、廃絶以後の遺構として近世長隆寺の土塀基礎や参道を確認している。

**まとめ** 本調査で確認された 10 世紀初頭に解体された一本柱壠は、来住廃寺の内部の区画施設である可能性が高く、今後延長部を確認することにより中心伽藍の内容を解明する手がかりになると思われ、大きな成果と言える。また瓦廃棄土坑は 3 基ともに形成時期が一本柱壠の廃棄時期と同じ頃であり、この時期を、寺院の廃絶期とする考え方できるが、六葉蓮華紋軒丸瓦の成立時期が平安時代と考えられることから、法灯を保っている間の伽藍整備によるものと考えたい。



写真 1 調査地全景（北西より）



写真 2 一本柱壠遺物出土状況（南から）

## ひらい 平井遺跡8次調査

所在地 松山市平井町甲 2348 番1の一部  
期 間 平成 20年3月 25日～同年5月 30日  
面 積 244.53 m<sup>2</sup>  
原 因 緊急調査  
備 考 市道小野 160号線道路改良工事に伴う調査  
担 当 水本完児

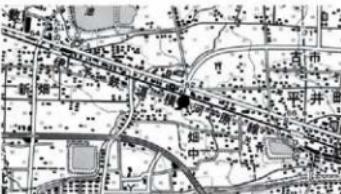


図1 調査地位置図

**概要** 調査地は松山平野南東部、標高 58.8～59.0m に立地する。周辺では、平井遺跡（3～7次調査）や古市遺跡、下刈屋遺跡があり、弥生時代から中世までの集落関連遺構や遺物が多数確認されている。検出した遺構は、溝（SD）5条、土坑（SK）8基、柱穴（SP）69基である。遺物は遺構及び包含層より弥生土器、土師器片、須恵器片、石器が出土した。

SK 1は直径 1.2m を測る円形土坑で、土坑内からは弥生時代中期後半の土器が出土した。また、包含層中からも同時期の遺物が出土している。SK 2～6は古墳時代後期の土坑で、土坑内からは土師器片や須恵器片が出土した。なお、土坑2基（SK 4・SK 6）からは柱痕を検出した。配置や柱穴形態、柱穴埋土から、3基の土坑（SK 2・3・6）は建物柱穴の可能性があり、本来は古墳時代後期の掘立柱建物が存在した可能性が高い。周辺の調査においても該期の建物が検出されており、調査地や周辺地域に古墳時代後期集落が広く展開していたことがわかる。SD 1は、幅 2m、深さ 60cm を測る北東～南西方向の溝で、溝内からは弥生土器片（前期）や土師器片、須恵器片が出土した。出土遺物や検出層位から、平安時代までに埋没した溝と考えられる。中世では SD 2・3 及び柱穴内から、鎌倉時代から室町時代にかけての遺物が出土した。建物は未検出であるが、検出した遺構は中世集落の存在を示すものといえよう。

**まとめ** 今回の調査では、平井地区における古墳時代集落の広がりや、古代から中世の集落様相を知る貴重な手がかりを得ることができた。今後は、調査地周辺の遺跡との関係を検討し、弥生時代から中世までの集落構造や性格解明が急務となる。



写真1 完掘状況1（東より）



写真2 完掘状況2（北より）

## ひらい 平井遺跡9次調査

所在地 松山市平井町甲3131番1の一部  
期 間 平成20年6月2日～同年6月30日  
面 積 83.97 m<sup>2</sup>  
原 因 緊急調査  
備 考 市道小野160号線道路改良工事に伴う調査  
担 当 水本完児



図1 調査地位置図

**概要** 調査地は松山平野南東部、標高54.2～54.6mに立地する。周辺では、調査地北方に平井遺跡〔小野160号線関連遺跡〕、南方には水泥遺跡や高井遺跡〔水泥南高井線関連遺跡〕があり、弥生時代から中世までの集落遺構や古代から近世までの生産遺構が確認されている。検出遺構は古代から中世までのもので、溝(SD)1条、土坑(SK)4基、柱穴(SP)22基である。遺物は、遺構及び包含層中より土師器片、須恵器片、石器が出土した。以下、時期別に主な遺構の概略を説明する。

古代の遺構は、土坑3基(SK1・2・4)と溝1条(SD1)を検出した。このうち、SK2は長径3.0m、短径1.2m、深さ20cmを測る楕円形土坑で、土坑内からは完形品を含む7世紀代の須恵器や土師器が数多く出土した。出土した須恵器の中には、焼け歪みのあるものや、火ぶくれのあるものが多く、SK2はいわゆる不良品を投棄した廃棄遺構と考えられる。また、SK1からもSK2と同時期の遺物が多数出土している。なお、包含層中からも同時期の遺物が出土していることなどから、調査地や周辺地域には飛鳥時代の集落関連遺跡が存在しているものと推測される。中世の遺構は、土坑1基(SK3)と柱穴22基を検出した。遺物は、遺構内より13～14世紀代の土師器や陶磁器片が出土した。建物を構成する柱穴は検出されなかったが、周辺に同時期の集落が存在することを示唆する貴重な資料といえよう。

**まとめ** 今回の調査では、調査地や周辺地域における古代から中世までの集落の存在を推測される資料が得られた。今後は、調査地周辺の遺跡との関係を検討し、古代から中世までの集落範囲や構造を明確しなければならない。



写真1 完掘状況（北西より）



写真2 SK2 遺物出土状況（西より）

## みどろ 水泥遺跡 7次調査

所在地 松山市水泥町 453 番の一部外  
期 間 平成 20 年 1 月 7 日～同年 6 月 30 日  
面 積 1813.02 m<sup>2</sup>  
原 因 緊急調査  
備 考 市道小野 203 号線道路改良工事に伴う調査  
担 当 相原秀仁



図 1 調査地位置図

**概要** 調査地は松山平野南東部、標高 48.30 ~ 49.40 m に立地する。調査地東側では水泥遺跡 1 ~ 3 次調査（市道水泥南高井線関連遺跡）、水泥遺跡 4 ~ 6 次調査（市道小野 202 号線関連遺跡）が実施され、主に古代から中世までの生産遺構が確認されている。調査では弥生時代から近世までの生産遺構や遺物を確認した。

弥生時代や古墳時代の遺構は未検出であるが、小野川の氾濫に起因する流路や礫層中から弥生土器片や土師器片が少量出土した。古代では調査地南部、2 区と 3 区にて溝 1 条ずつを検出した。SD 201 は「L」字状に折れ曲がる溝で、埋土や形状より農耕に伴う水路と考えられる。調査地東側にある水泥遺跡（1 ~ 3 次調査）において、該期の溝や鰐跡が検出されており、水泥地区における古代の生産城の広がりを示す資料といえる。中世の遺構は 1 区と 6 区で畦畔、2 区で溝、7 区と 8 区で鰐跡や溝、土坑を検出した。1 区で検出した水田址は、比較的小規模な方形区画を呈しており、規模がわかるものでは 1 辺 3 m を測る。出土品より 13 ~ 14 世紀代の水田址と推測される。近世では 2 区と 6 区を除く地区にて鰐跡と畝溝を確認した。5 区では畑耕作に伴う畝溝を検出した。畝溝は真北に直行する方向で東西方向に掘削されていたが、畑の形状や規模は把握できなかった。

**まとめ** 今回の調査では、古代から近世までの水田・畑跡を検出した。これらの調査成果は水泥遺跡 1 ~ 6 次調査と同様であることから、調査地周辺は古代から近世まで脈々と水田や畑經營がおこなわれたものと考えられ、調査地一帯が長期間に渡り生産城として土地利用されていたことがわかった。



写真 1 1 区畦畔検出状況（北西より）



写真 2 5 区畝溝検出状況（南東より）

II 平成 20 年度  
松山市埋蔵文化財調査関係資料

# 松山市埋蔵文化財調査関係資料

## 例 言

1. 本編は、松山市教育委員会事務局文化財課・(財)松山市生涯学習振興財團埋蔵文化財センターが実施した埋蔵文化財確認調査及び本発掘調査資料である。
2. 埋蔵文化財確認調査は平成 20 年度（申請番号 1 ~ 343 号）、平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日受付迄の資料を取り扱う。なお、平成 19 年度以前の資料については、「埋蔵文化財調査年報 I ~ X (昭和 60 ~ 平成 9 年度)、同年報 11 ~ 20 (平成 10 ~ 19 年度)」を参照されたい。
3. 資料作成（一覧表・付録図）は、小笠原善治、國田克彦、浅井茂之、武智洋明が行った。
4. 表中の番号は、埋蔵文化財確認願いの申請番号に順するものである。また、本発掘調査については、平成 20 年度に行った調査を取り扱う。
5. 付録図は、国土地理院発行の 2 万 5 千分の 1 地形図（伊予北条・三津浜・松山北部・郡中・松山南部）を使用し、8 万分の 1 の縮尺で記載した。
6. 一覧の略記について  
①標高：地表面、（ ）は調査地内平均値。②調査目的：公=施主公共団体、私=施主一般。  
③調査方法：空白は未調査等。④緊急：記録保存を目的とした調査。国補：国庫補助事業調査。

## 埋蔵文化財の保護について

文化財は、わが国の歴史・文化等を正しく理解するために欠くことのできないものであり、かつ将来の文化的向上、発展の基礎をなすものです。それら文化財の保存・活用による国民の文化的向上を目的として昭和 25 年に制定された文化財保護法には、「国民の心構えとして、『政府及び地方公共団体がこの目的を達成するために行う措置に誠実に協力しなければならない』こと、『文化財が貴重な国民的財産であることを自覚し、これを公共のために大切に保存するとともに、その文化的活用に努めなければならない』ことが記されています。また同時に政府及び地方公共団体は、関係者の所有権その他の財産権を尊重しなければならないこととなっています。

## ●周知の埋蔵文化財包蔵地内における土木工事等届出および確認調査について

埋蔵文化財包蔵地とは、貝塚、古墳、城跡等はもとより、土師片等の地表面での散布が認められる場所（散布地）、並びに土中での包含が認められる場所（包含地）をいいます。

埋蔵文化財は、建造物等の他の文化財と違って主に地下に存在するため、土木工事等による破壊を免れない場合があります。そのため、地図（註 1）に示された「周知の埋蔵文化財包蔵地」内で土木工事等を行なう場合は、60 日前までに愛媛県教育委員会への届出が義務付けられています。また、その届出に伴い埋蔵文化財の有無を確認するための調査（踏査、試掘等）を行いますので、土木工事等の計画がある場合は事前に松山市教育委員会文化財課へご相談ください。

註 1. 地図（松山市埋蔵文化財包蔵地図）は、市教委文化財課にて配布しております。

表1 平成20年度松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(1)

No.	所 在 地	面積(m <sup>2</sup> )	標高(m)	包 蔽 地 名	調査目的	調査方法	遺跡有・無	包含層・遺構	遺 物	備考
1	東野五丁目	145.61	64.34	No.126	私 意見書	－				H18-106 試掘調査見書対応
2	東石井六丁目	776.75	22.4	No.113	私 試掘	無				
3	桑原一丁目	132.00	35.5	No.119	私 試掘	無				
4	道後北代	189.49	31.2	No.118	私 試掘	無				
5	下伊台町	30.00	－	No.142	公 踏査	無				
6	辻町	677.57	14.4	No.79	私 試掘	無				
7	今在家一丁目	151.38	30.5	No.79	私 意見書	－				H18-297 試掘調査見書対応
8	北斎院町	223.08	12.3	No.126	私 試掘	有 溝			土師	
9	朝生田町二丁目	681.94	19	No.157	私 試掘	無				
10	東野五丁目	144.12	63.5	No.120	私 試掘	無				
11	北土居町	311.01	24	No.154	私 試掘	無				
12	北土居町	729.0	23.7	No.111	私 試掘	無				
13	八反地	18.00	7295	No.81	公 －	－				申請取引下り
14	南江戸三丁目	1.43	13.9	No.81	公 意見書	－				意見書対応
15	辻町	198.60	15.4	No.129	私 試掘	無				
16	今在家三丁目	723.97	31.7	No.81	私 試掘	無				
17	今在家三丁目	5.87	31	No.67	公 意見書	－				H19-307 試掘調査見書対応
18	南江戸四丁目	231.88	12.9	No.124	私 試掘	無				
19	椿味四丁目	242.65	38.5	No.120	私 意見書	－				H19-242 試掘調査見書対応
20	鷹子町	115.71	46.2	No.67	私 試掘	無				
21	三杉町	939.04	1.4	No.126	公 試掘	無				
22	和気町二丁目	517.00	0.4	No.85	公 試掘	無				
23	平井町	829.59	69	No.170-3	私 試掘	有 溝			張生・土師	
24	内宮町	53.00	61.8	No.33	私 踏査	無				
25	東本一丁目	555.22	34.4	No.116	私 試掘	有 竪穴住居址・溝			張生	
26	祝谷二丁目	1.90	48.8	No.17	公 意見書	－				意見書対応
27	朝生田町二丁目	9.50	19.9	No.128	公 意見書	－				意見書対応
28	東雲町	4,586.86	28.9	No.41	公 試掘	有 墓				
29	朝日ヶ丘一丁目	1,763.72	29.97	No.29	私 試掘	無				
30	北久米町	328.40	31.8	No.142	公 意見書	－				意見書対応
31	南斎院町	398.58	66.4	No.122	公 踏査					
32	朝美一丁目	1.30	17.4	No.114	公 意見書	－				意見書対応
33	椿味二丁目	3.10	42.8	No.79	公 意見書	－				意見書対応
34	道後北代	196.00	33.7	No.34	私 試掘	無				
35	東野五丁目	192.20	51.8	No.55-56-57	私 試掘	無				
36	東野五丁目	184.97	55.2	No.27	私 試掘	無				
37	東野五丁目	199.47	57.7	No.34	私 試掘	無				
38	今在家三丁目	465.80	32.8	No.55-56-57	私 意見書	－				H19-263 試掘調査見書対応

表1 平成20年度松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(2)

No.	所 在 地	面積(m <sup>2</sup> )	標高(m)	包 藏 地 名	調査 目的	調査 方法	遺跡 有・無	包含層・遺構	遺 物	備 考
39	今在家一丁目	221.49	30.5	No.131	私	意見書	-			H18-297 試掘調査 意見書対応
40	衣山五丁目	140.29	28.6	No.29	私	意見書	-			H15-229 試掘調査 意見書対応
41	小坂二丁目	3.90	28.5	No.68	公	意見書	-			周辺試掘結果添付 意見書対応
42	久米塙田町	444.60	43.6	No.67	公	意見書	-			意見書対応
43	小坂四丁目	79.00	27.5	No.67	私	試掘	無			
44	小坂四丁目	53.19	27.5	No.41	私	試掘	無			
45	星岡一丁目	198.00	25.9	No.83	私	試掘	無			
46	山西町	143.93	2.7	No.67	公	意見書	-			H19-49-H20-126 157・158 調査 意見書対応
47	南久米町	150.00	36.2	No.83	公	意見書	-			意見書対応
48	松末二丁目	505.03	27	No.85	私	試掘	無			
49	平井町	460.50	49.3	No.127	公	試掘	無			
50	桑原二丁目	1,147.00	39.4	No.169	私	試掘	有	柱穴・溝・壁穴住居 址・土坑	弥生・土 師・埴輪	
51	北久米町	350.00	28.8	No.17	公	意見書	-			意見書対応
52	北条辻	1,042.00	1.9	No.125	公	試掘	無			
53	北梅本町	40.00	167.6	No.41	公	試掘	無			
54	南久米町	337.40	32.4	包藏地外	公	意見書	-			意見書対応
55	道後町二丁目～ 道後喜多町	48.80	34.9	No.110	公	意見書	-			意見書対応
56	小坂四丁目	1,911.86	27.18	No.127	私	意見書	-			H17-269 試掘調査 意見書対応
57	朝美一丁目	3.40	14.4	No.81	公	意見書	-			意見書対応
58	北久米町	6.65	34	No.131	公	意見書	-			意見書対応
59	今在家三丁目	16.00	32.5	No.55-56-57	公	意見書	-			意見書対応
60	朝美一丁目	6.90	14.6	No.129	公	意見書	-			意見書対応
61	樽味二丁目	695.07	43	No.122	私	意見書	-			H19-213 試掘調査 意見書対応
62	鷹子町～久米塙田町	81.54	41.5	No.127	公	意見書	-			意見書対応
63	鷹子町	19.10	41.5	No.109	公	意見書	-			意見書対応
64	道後喜多町	219.33	33.8	No.79	私	試掘	無			
65	北斎院町	55.00	8.2	No.109	公	意見書	-			意見書対応
66	南江戸五丁目	228.98	4	No.33	私	意見書	-			H17-200 試掘調査 意見書対応
67	鷹子町	317.87	43.6	No.166	私	試掘	有	柱穴・土坑	弥生・土師	
68	山越一丁目	805.37	18.1	No.127	私	意見書	-			H19-168 試掘調査 意見書対応
69	高岡町	634.16	5.9	No.119	公	試掘	無			
70	文京町	97.00	25.6	No.81	私	意見書	-			意見書対応
71	朝美一丁目	249.70	23.5	No.132	私	試掘	無			
72	桑原四丁目	8.12	37.7	No.113	公	意見書	-			意見書対応
73	別府町	75.00	4.8	No.34	公	試掘	無			
74	樽味二丁目	1.70	43	No.82	公	意見書	-			H19-213 試掘調査 意見書対応
75	桑原四丁目	152.243	38.65	No.114	私	試掘	無			
76	山越一丁目	138.88	18.1	No.160	私	試掘	無			

表1 平成20年度松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(3)

No.	所在地	面積(m <sup>2</sup> )	標高(m)	包蔵地名	調査目的	調査方法	遺跡有・無	包含層・遺構	遺物	備考
77	山西町	3420.00	2.4	No.22	私	試掘	無			
78	祝谷二丁目	2147.56	34.36	No.55-56-57	私	試掘	無			
79	姫原一丁目	45.94	25.9	No.168	私	試掘	無			
80	南久米町	463.10	40.1	No.127	公	意見書	-			意見書対応
81	常光寺町	484.67	83.9	包蔵地外	公	試掘	無			
82	平井町	237.58	47.4	No.131	私	試掘	無			
83	北梅本町	774.48	99.2	No.166	私	意見書	-			H18-154 試掘済 意見書対応
84	南江戸五丁目	258.98	13.3	No.34	紙	意見書	-			H19-250 試掘済 意見書対応
85	岩崎町一丁目	199.03	40.1	No.153	私	試掘	無			
86	文京町	0.35	25.6	No.67	私	意見書	-			意見書対応
87	文京町	1,682.00	25.6	No.67	私	意見書	-			意見書対応
88	文京町	1,308.00	25.6	No.67	私	意見書	-			意見書対応
89	東野一丁目	87.87	47.8	包蔵地外	私	試掘	有 柱穴	彌生		
90	桑原二丁目	231.52	39.2	No.157	私	試掘	無			
91	北井門一丁目	118.49	22.8	No.121	私	試掘	無			
92	久米庭田町	1,121.00	47.8	No.129	私	試掘	有 柱穴	彌生・土師		
93	三町一丁目	2,054.55	32.1	No.85	私	試掘	有 柱穴	彌生・石器		
94	柳味四丁目	527.23	39.4	No.81	私	意見書	-			意見書対応
95	谷町	327.80	17.4	No.41	私	試掘	無			
96	小坂五丁目	1,216.35	25.2	No.113	私	意見書	-			H19-319 試掘済 意見書対応
97	福音寺町	238.08	28.1	No.116	私	意見書	-			H19-90 試掘済 意見書対応
98	船ヶ谷町	233.05	15.3	No.17	私	試掘	無			
99	平井町	236.61	47.4	No.131	私	試掘	無			
100	谷町	667.96	16.8	No.41	私	試掘	無			
101	朝美二丁目	787.95	14.8	No.34	私	試掘	有 包含層	彌生・須恵 木片		
102	姫原一丁目	354.21	26.6	No.168	私	試掘	無			
103	小坂二丁目	640.00	28.3	No.110	私	意見書	-			H19-39 試掘済 意見書対応
104	道後一万	219.17	33.4	No.68	私	試掘	有 土坑・柱穴	彌生		
105	平井町	276.16	64.1	No.95	私	試掘	無			
106	桑原二丁目	171.91	39.4	No.81	私	意見書	-			意見書対応
107	山越一丁目	99.20	18.1	No.160	私	試掘	無			
108	北土居町2	215.23	24.3	No.120	私	試掘	無			
109	東石井五丁目	735.74	21.4	No.119	私	試掘	無			
110	溝辺町	171.27	99.8	No.75	私	試掘	無			
111	東野五丁目	127.57	64.34	No.79	私	意見書	-			H18-106 試掘済 意見書対応
112	東住町	166.11	-	No.127	私	-	-			申請取り下げ (08/7/14)
113	清水町二丁目	215.52	22.9	No.67	私	試掘	無			
114	久万ノ台	173.77	18.3	No.167	私	試掘	有 土坑	須恵・土師		

表1 平成20年度松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(4)

No.	所在地	面積(m <sup>2</sup> )	標高(m)	包蔵地名	調査目的	調査方法	遺跡有・無	包含層・遺構	遺物	備考
115	天山一丁目	459.79	22	No.112	私	試掘	無			
116	道後喜多町	323.78	34.2	No.68	私	試掘	無			
117	桑原一丁目	538.95	37.4	No.157	私	試掘	無			
118	今在家二丁目	608.90	31	No.125	公	意見書	-			意見書対応
119	文京町	650	25.6	No.67	私	意見書	-			意見書対応
120	西石井六丁目	4.40	21.7	No.119	公	意見書	-			意見書対応
121	朝生田町二丁目	1.16	18.8	No.67	公	意見書	-			意見書対応
122	祝谷二丁目	3.24	33.9	No.55・56・57	公	意見書	-			意見書対応
123	平井町	328.48	79	No.90	私	試掘	無			
124	猿川原	12.00	-	No.29(田辺市)	私	踏査	無			
125	辻町	259.35	15.4	No.34	私	試掘	無			
126	朝生田町二丁目	212.95	18.4	No.109	私	試掘	無			
127	南江戸四丁目	219.98	11	No.35	私	試掘	無			
128	持田町一丁目	3.00	-	包蔵地外	私	意見書	-			意見書対応
129	山西町	933.05	2.6	No.22	私	試掘	無			
130	今在家二丁目	2,511.77	32.5	No.125	私	試掘	無			
131	今在家二丁目	1,034.46	31.6	No.125	私	試掘	無			
132	祝谷東町	970.00	66.2	No.53	公	試掘	無			
133	道後北代	2,294.12	31.9	No.68	私	試掘	有	包含層	土師・須恵	
134	文京町	1.00	25.6	No.67	私	意見書	-			意見書対応
135	枝松四丁目	1,001.64	31.8	No.83	私	試掘	無			
136	道後北代	302.24	34.3	No.55・56・57	私	試掘	無			
137	衣山二丁目	347.05	22.8	No.20	私	試掘	無			
138	古川北二丁目	553.58	15.8	包蔵地外	公	試掘	無			
139	南久米町	1.96	35.2	No.126	私	意見書	-			意見書対応
140	鷹子町	3,536.73	56.7	No.152	私	試掘	無			
141	中村二丁目	466.06	26.3	No.161	私	試掘	無			
142	朝美一丁目	138.82	14.6	No.34	私	意見書	-			H19-243 試掘調 意見書対応
143	文京町	2.40	25.6	No.67	私	意見書	-			意見書対応
144	東石井五丁目	156.80	21.4	No.119	私	意見書	-			H20-109 試掘調 意見書対応
145	御幸一丁目	578.93	31.5	包蔵地外	公	試掘	無			H20-109 試掘調 意見書対応
146	東石井五丁目	4.60	21.4	No.119	公	意見書	-			H19-243 試掘調 意見書対応
147	平井町	320.70	85.3	No.90	私	試掘	無			
148	平井町	331.36	85.2	No.90	私	試掘	無			
149	南久米町	7,003.00	31.6	No.126	私	意見書	-			H19-96 試掘調 意見書対応
150	山西町	933.05	2.6	No.22	私	意見書	-			H20-129 試掘調 意見書対応
151	今在家町二丁目	1,357.00	31.3	No.126	私	試掘	無			
152	東野五丁目	320.44	64.5	No.79	私	意見書	-			H18-107 試掘調 意見書対応

表1 平成20年度松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(5)

No.	所在地	面積(m <sup>2</sup> )	標高(m)	包蔵地名	調査目的	調査方法	遺跡有・無	包含層・遺構	遺物	備考
153	文京町	0.25	25.6	No.67	私	意見書	—			意見書対応
154	衣山三丁目	143.74	25.4	No.20	私	試掘	有 柱穴		弥生	
155	高砂町三丁目	2,176.66	22.4	包蔵地外	公	試掘	無			
156	桑原二丁目	971.97	39.4	No.81	私	意見書	—			H19-50 試掘調査 意見書対応
157	文京町	1,266.00	25.6	No.67	私	意見書	—			意見書対応
158	祝谷五丁目	247.55	43.62	No.55・56・57	私	意見書	—			H16-145 試掘調査 意見書対応
159	朝美一丁目	151.84	14.6	No.34	私	意見書	—			H19-243 試掘調査 意見書対応
160	朝美一丁目	314.00	—	No.33	私	—	—			申請取り下げ
161	北斎院町	2040.91	7.6	No.29	私	試掘	無			
162	東住町	3.01	40.92	No.127	私	意見書	—			H12-383 試掘調査 意見書対応
163	祝谷二丁目	212.28	34.4	No.55・56・57	私	試掘	有 柱穴		弥生	
164	道後今市	150.07	32.7	No.68	私	意見書	—			H19-327 試掘調査 意見書対応
165	鷹子町	464.12	45.4	No.129	私	試掘	無			
166	朝美一丁目	115.82	14.6	No.34	私	意見書	—			H19-243 試掘調査 意見書対応
167	南久米町	148.13	35.2	No.126	私	意見書	—			H18-135 試掘調査 意見書対応
168	南久米町	141.75	35.2	No.126	私	意見書	—			H18-135 試掘調査 意見書対応
169	南久米町	147.73	35.2	No.126	私	意見書	—			H18-135 試掘調査 意見書対応
170	南久米町	137.15	35.2	No.126	私	意見書	—			H18-135 試掘調査 意見書対応
171	南久米町	149.72	35.2	No.126	私	意見書	—			H18-135 試掘調査 意見書対応
172	南久米町	158.07	35.2	No.126	私	意見書	—			H18-135 試掘調査 意見書対応
173	和気町一丁目	74.00	3.4	No.12	公	意見書	—			意見書対応
174	南久米町	965.81	37.1	No.126	私	試掘	無			
175	朝美一丁目	134.51	14.6	No.34	私	意見書	—			H19-243 試掘調査 意見書対応
176	朝美一丁目	144.86	14.6	No.34	私	意見書	—			H19-243 試掘調査 意見書対応
177	御幸一丁目	849.72	34.4	No.48	私	試掘	無			
178	祝谷二丁目	3.40	33.9	No.55・56・57	公	意見書	—			意見書対応
179	大浦	60,157.47	—	No.6(北条地区)	公	踏査	無			
180	北久米町	286.34	31.8	No.126	私	試掘	無			
181	中村一丁目	1,720.73	29.4	No.108	私	試掘	有 土坑・柱穴		弥生・須恵	
182	東方町	12.00	72.6	No.144	私	試掘	無			
183	枝松六丁目	431.09	27.4	No.114	私	試掘	無			
184	久万ノ台	287.00	20.5	No.18	私	意見書	—			H19-51 試掘調査 意見書対応
185	祝谷二丁目	3.20	32.6	No.55・56・57	公	意見書	—			意見書対応
186	北井門一丁目	156.10	23.9	No.121	私	試掘	無			
187	文京町	2.70	25.6	No.67	私	意見書	—			意見書対応
188	柳味三丁目	11.00	42.1	包蔵地外	私	意見書	—			意見書対応
189	西石井六丁目	801.50	21.2	No.119	私	試掘	無			
190	今在家三丁目	85.99	30.8	No.125	公	意見書	—			意見書対応

表1 平成20年度松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(6)

No.	所在地	面積(m <sup>2</sup> )	標高(m)	包蔵地名	調査目的	調査方法	遺跡有・無	包含層・遺構	遺物	備考
191	水泥町	253.154	60.4	No.142	私	試掘	無			
192	山西町	198.18	3.4	No.22	私	試掘	無			
193	下伊台町	450.54	145.7	No.169	私	試掘	無			
194	衣山三丁目	143.74	25.4	No.20	私	意見書	-			H20-154 試掘調 意見書対応
195	東野五丁目	8.00	64.34	No.79	私	意見書	-			H18-106 試掘調 意見書対応
196	東野五丁目	31.78	64.34	No.79	私	意見書	-			H18-106 試掘調 意見書対応
197	来住町	657.00	35.8	包蔵地外	私	意見書	-			大糸路御堂堂62-66 調査後意見書対応
198	朝美一丁目	117.86	15.3	No.34	私	試掘	無			
199	平井町	254.56	80.3	No.90	私	試掘	無			
200	久米塙田町	221.15	44.4	No.128	私	試掘	無			
201	桑原三丁目	661.18	38.8	No.82	私	試掘	無			
202	道後橋又	227.17	29.9	No.67	私	意見書	-			H19-258 試掘調 意見書対応
203	東石井二丁目	231.41	24.8	No.118	私	意見書	-			意見書対応
204	北土居町	2978.79	23.3	No.120	私	試掘	有 土坑・溝	弥生・縄文・ 土師		
205	桑原四丁目	143.57	37.3	No.85	私	試掘	有 柱穴	弥生・土師		
206	祝谷五丁目	1.00	43.6	No.55・56・57	公	意見書	-			意見書対応
207	中村一丁目	587.64	29.2	No.108	私	試掘	有 土坑	弥生		
208	朝美二丁目	346.37	18.2	No.34	私	試掘	無			
209	平井町	220.67	67.9	No.90	私	試掘	無			
210	平井町	235.84	47.4	No.131	私	意見書	-			H20-99 試掘調 意見書対応
211	福音寺町	1.241.85	24.05	No.114	私	試掘	有 溝	弥生・土師・ 縄文		
212	福音寺町	1.500.00	24.4	No.114	私	試掘	有 溝・土坑	縄文・土師		
213	桑原一丁目	1.289.25	36.8	No.157	私	試掘	無			
214	柳味四丁目	564.40	39	No.81	私	意見書	-			柳味四反地16次測 金消 意見書対応
215	北海町	287.08	140.2	No.116	私	試掘	無			
216	東野五丁目	667.29	60.83	No.79	私	試掘	無			
217	来住町	150.57	37.3	No.127	私	試掘	無			
218	南江戸六丁目	276.22	24.2	No.33	私	試掘	無			
219	東方町	210.06	55.8	No.143	私	試掘	有 柱穴	縄文・土師		
220	辻町	448.70	15.2	No.34	私	試掘	-			
221	三町一丁目	2093.01	32.1	No.85	私	意見書	-			H20-99 試掘調 意見書対応
222	中村一丁目	587.64	29.2	No.108	私	意見書	-			H20-99 試掘調 意見書対応
223	馬本町	384.50	3.5	包蔵地外	公	試掘	無			
224	持田町三丁目	0.40	34.8	No.72	公	意見書	-			H20-207 試掘調 意見書対応
225	朝生田町三丁目	177.60	18.4	No.109	私	試掘	無			
226	久米塙田町	594.00	44.1	No.128	私	試掘	無			
227	朝生田町三丁目	3.10	18.4	No.109	公	意見書	-			意見書対応
228	祝谷東町	4.35	51	No.55・56・57	公	意見書	-			意見書対応
229	道後今市	161.80	32.9	No.68	私	試掘	無			

表1 平成20年度松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(7)

No.	所在地	面積(m <sup>2</sup> )	標高(m)	包蔵地名	調査目的	調査方法	遺跡有・無	包含層・遺構	遺物	備考
230	祝谷東町	509.00	51.5	No.55・56・57	私	試掘	無			
231	元怒和	18730.07	-	包蔵地外	公	踏査	無			
232	南久米町	1.60	35.2	No.126	私	意見書	-			H18-135 試掘調査見書対応(複数提出)
233	南江戸三丁目	540.43	13.7	No.37	私	試掘	無			
234	南久米町	304.85	41.4	No.127	私	試掘	無			
235	桑原四丁目	147.68	37.5	No.85	私	意見書	-			意見書対応
236	由良町	8,657.00	49.8	包蔵地外	公	踏査	無			
237	柳味四丁目	459.10	40.2	No.81	私	意見書	-			H19-18-20 試掘調査見書対応
238	北井門二丁目	968.45	24.03	No.121	私	試掘	無			
239	東野五丁目	104.00	64.34	No.79	私	意見書	-			H18-106 試掘調査見書対応
240	東野五丁目	153.12	64.34	No.79	私	意見書	-			H18-106 試掘調査見書対応
241	朝美二丁目	11.00	14.8	No.34	公	意見書	-			意見書対応
242	柳味四丁目	819.20	39.4	No.81	私	意見書	-			柳味地区C区 (柳味西段地 19-20次調査) 意見書対応
243	平井町	265.60	64.1	No.95 No.152	公	-	-			
244	平井町	196.61	77.8	No.90	私	意見書	-			H19-125 試掘調査見書対応
245	食場町	55.25	120	No.184	私	意見書	-			意見書対応
246	桑原二丁目	231.01	39.2	No.157	私	意見書	-			H20-90 試掘調査見書対応
247	善庵寺	5,303.00	-	包蔵地外	公	踏査	-			
248	柳味四丁目	12.02	40.42	No.81	私	意見書	-			H19-18 試掘調査見書対応
249	北斎院町	252.00	8	No.29	私	試掘	無			
250	北土居町	289.89	24.3	No.120	私	試掘	無			
251	祝谷二丁目	2.24	34.4	No.55・56・57	公	意見書	-			意見書対応
252	東住町	0.98	37.7	No.127	私	意見書	-			意見書対応
253	南梅本	426.00	74.1	No.107	私	試掘	無			
254	柳味四丁目	447.18	40.2	No.81	私	意見書	-			H19-16 試掘調査見書対応
255	南久米町	234.74	40.1	No.127	私	試掘	無			
256	南土居町	366.85	38.4	No.132	私	試掘	有 溝		土師	
257	平井町	1,800.00	-	No.90	公	-	-			
258	南久米町	19.00	31.6	No.126	公	意見書	-			H18-106 試掘調査見書対応
259	東野五丁目	131.13	64.34	No.79	私	意見書	-			H18-106 試掘調査見書対応
260	平田町	194.96	16.6	No.40	私	試掘	無			
261	南久米町	15.32	35.2	No.126	私	意見書	-			H18-135 試掘調査見書対応
262	南江戸三丁目	1.60	13.7	No.37	公	意見書	-			H20-223 試掘調査見書対応
263	朝美二丁目	2.40	18.2	No.34	公	意見書	-			H20-206 試掘調査見書対応
264	道後今市	238.00	33	No.68	私	試掘	無			
265	桑原二丁目	2.32	39.4	包蔵地外	公	意見書	-			H20-156 試掘調査見書対応
266	福音寺町	1,206.00	29.3	No.116	私	試掘	有 柱穴・溝		漆生・土師・ 瓦器	
267	祝谷二丁目	238.76	46.7	No.55・56・57	私	試掘	無			

表1 平成20年度松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(8)

No.	所在地	面積(m <sup>2</sup> )	標高(m)	包蔵地名	調査目的	調査方法	遺跡有・無	包含層・遺構	遺物	備考
268	水泥町	301.00	47.2	No.131	私	試掘	無			
269	朝美二丁目	787.95	14.8	No.34	私	意見書	-			H20-10J 試掘請 意見書対応
270	南久米町	0.50	35.2	No.126	私	意見書	-			H18-13G 試掘請 意見書対応
271	枝松五丁目	206.55	-	No.113	私	-	-			
272	東石井六丁目	1.90	22.4	No.119	公	意見書	-			H20-2 試掘請 意見書対応
273	東石井二丁目	4.40	25	No.118	公	意見書	-			意見書対応
274	水泥町	100.31	-	No.142	私	-	-			申請取り消し 受付日 H21-127
275	東野五丁目	136.67	64.34	No.79	私	意見書	-			意見書対応
276	東野五丁目	122.77	64.34	No.79	私	意見書	-			H18-10F 試掘請 意見書対応
277	南久米町	6.00	35.2	No.126	私	意見書	-			H18-13G 試掘請 意見書対応
278	桑原一丁目	9.00	36.8	No.157	公	意見書	-			意見書対応
279	北井門町	165.49	24	No.120	私	試掘	無			
280	安城寺町	390.30	8.8	No.154	私	試掘	無			
281	小坂五丁目	124.79	24.5	No.111	私	試掘	無			
282	樽味四丁目	2.00	39.4	No.81	公	意見書	-			意見書対応
283	樽味四丁目	2.04	39	No.81	公	意見書	-			意見書対応
284	鷹子町	357.19	45.9	No.129	私	試掘	無			
285	樽味四丁目	1.00	39.4	No.81	私	意見書	-			意見書対応
286	文京町	1,826.00	25.6	No.67	私	意見書	-			意見書対応
287	北久米町	933.28	31.2	No.124	私	試掘	有 土坑・溝・柱穴	共生・頸壺		
288	北土居町	134.64	24.3	No.120	私	意見書	-			H20-10B 試掘請 意見書対応
289	清水町二丁目	103.93	22.8	No.67	私	試掘	有 柱穴・土坑	土壘		
290	南久米町	156.43	35.7	No.126	私	意見書	-			H19-16Z 試掘請 意見書対応
291	桑原七丁目	231.94	33.8	No.85	私	試掘	無			
292	椎現町	338.98	25.8	No.170-3	私	試掘	無			
293	朝美一丁目	313.49	24	No.33	私	試掘	無			H20-16Q 申請取 消し再度別業者 にて申請 受付日 H21-1-27
294	星岡町	1,616.00	28.7	No.116	私	試掘	有 柱穴・溝	共生・頸壺・ 土壘		
295	西長戸町	826.49	8.93	No.17	私	試掘	有 墓穴住居址・土 坑	共生・頸壺・ 土壘		
296	久米窪田町	530.12	43.95	No.128	私	試掘	無			
297	谷町	574.11	11.6	No.41	私	試掘	無			
298	北斎院町	1,579.00	7.8	No.29	私	試掘	無			
299	水泥町	156.03	61.7	No.142	私	試掘	無			
300	星岡一丁目	7,205.14	29.7	No.122	公	試掘	無			
301	枝松六丁目	427.51	27.4	No.114	私	意見書	-			H20-18J 試掘請 意見書対応
302	東野五丁目	659.56	50.46	No.79	私	試掘	無			
303	朝美一丁目	144.33	14.6	No.34	私	意見書	-			H19-24J 試掘請 意見書対応
304	道後北代	5.37	31.2	No.55-56-57	公	意見書	-			意見書対応
305	北斎院町	2,049.28	7.8	No.27	私	試掘	無			

表1 平成20年度松山市埋蔵文化財確認調査一覧

(9)

No.	所 在 地	面積 (m <sup>2</sup> )	標高 (m)	包 藏 地 名	調査 目的	調査 方法	遺跡 有・無	包含層・遺構	遺 物	備 考
306	辻町	782.00	14.67	No.34	私	試掘	無			
307	祝谷二丁目	1.05	48.33	No.55・56・57	公	意見書	－			意見書対応
308	久米塙田町	173.96	46.7	No.131	私	試掘	無			
309	北斎院町	392.52	8.8	No.29	私	試掘	無			
310	道後今市	1,296.43	31.5	No.68	私	試掘	無			
311	文京町	318.10	25.6	No.67	私	意見書	－			意見書対応
311②	文京町	318.10	25.6	No.67	私	意見書	－			HOU1の工事実施 意見書対応
312	吉藤四丁目	508.00	15.9	No.41	私	試掘	無			
313	東本一丁目	276.63	35	No.83	私	試掘	有	柱穴		
314	文京町	74.00	25.6	No.67	私	意見書	－			意見書対応
315	枝松四丁目	518.94	31.7	No.83	私	試掘	無			
316	桑原四丁目	124.15	37.66	No.85	私	意見書	－			H19-289 試掘済 意見書対応
317	来住町	195.23	34.8	No.127	私	試掘	無			
318	下伊台町	447.12	145.3	No.169	私	試掘	無			
319	西長戸町	330.60	8.93	No.17	私	意見書	－			H20-206 試掘済 意見書対応
320	今在家二丁目	1,956.00	32.5	No.125	私	試掘	有	溝	株生・頃窓	
321	谷町	306.25	－	No.41	私	－	－			
322	道後湯之町	584.00	39	包藏地外	公	意見書	－			意見書対応
323	小坂二丁目	1,126.00	27.9	No.110	私	－	－			
324	南久米町	667.00	36.8	No.127	私	試掘	無			
325	柳味四丁目	0.85	39.4	No.81	私	意見書	－			意見書対応
326	久米塙田町	161.92	45	No.131	私	試掘	無			
327	祝谷二丁目	238.76	46.7	No.55・56・57	私	意見書	－			H20-267 試掘済 意見書対応
328	鷺子町	334.88	47.7	No.129	私	試掘	無			
329	星岡一丁目	170.00	47.7	No.122	公	踏査	無			
330	来住町	223.76	38.9	No.127	私	試掘	有	柱穴	株生・頃窓	
331	朝生田町二丁目	5.00	16.8	No.109	公	意見書	－			意見書対応
332	東野五丁目	818.00	59.12	No.79	私	試掘	無			
333	朝生田町二丁目	682.18	16.8	No.109	私	試掘	無			
334	朝美一丁目	179.00	26.1	No.33	私	試掘	無			
335	北梅本町	68.63	139	No.166	公	試掘	無			
336	来住町	158.51	38.8	No.127	私	意見書	－			H17-199 試掘済 意見書対応
337	西石井六丁目	5.28	21.1	No.119	公	意見書	－			意見書対応
338	柳味二丁目	157.98	42.9	No.81	私	意見書	－			H18-37 試掘済 意見書対応
339	南土居町	315.35	36.7	No.132	私	試掘	有	堅穴住居址	株生・頃窓・ 土間	
340	枝松五丁目	165.32	20.1	No.113	私	－	－			
341	辻町	1.20	14.67	No.34	公	意見書	－			H20-306 試掘済 意見書対応
342	桑原五丁目	1,312.00	36.8	No.82	私	－	－			
343	松末二丁目	235.69	28.1	No.114	私	－	－			

表2 平成20年度本格調査一覧

調査番号	通　　路　名	所　在　地	調査目的	時　代	主な遺構／遺物等	本格調査面積 (m <sup>2</sup> )	屋外調査面積 (m <sup>2</sup> )	調査番号
4057-A [松山市道16号松原通篠井]	中村二丁目50番1号、50番2号、53番1号の各一部	篠井住居跡・土坑・柱穴・石器・瓦器・木器	発生・中世	堅立柱建物・土坑・柱穴・石器・瓦器・木器	573165	H20.10.16～H21.1.31	4057-A	
4057-B [松山市道16号松原通篠井]	中村二丁目63番3号、44番2号、45番1号の各一部	篠井・柱穴／柱建物・陶器・陶磁器	古代～中世	篠井・柱穴・土坑・柱建物・陶器・陶磁器	約629.6	H21.2.2～H21.5.15	4057-B	
4063-C [松山市道160号高畠通篠井]	平野町23番1号の一部	篠井・土坑・柱穴／陶器・瓦器・石器・陶製品	古代	篠井・土坑・柱穴／土坑・陶器・瓦器・石器・陶製品	244.53	H20.3.25～H20.3.30	4063-C	
4064-A [松山市道160号高畠通篠井]	平野町31番1号の一部	篠井・土坑・柱穴／陶器・瓦器・石器	古代	篠井・土坑・柱穴／土坑・陶器・瓦器・石器	8397	H20.6.2～H20.6.30	4064-A	
4084-C [松山市道16号202号高畠通篠井]	水元町453番の一部外	利時・趣場・築造・土坑・先史土器・瓦器等。	中世	利時・趣場・窯跡・空き・柱穴・瓦器等	1.83102	H20.1.7～H20.6.30	4084-C	
507 桃松通跡11次調査	桃松町丁目229番1号の一部外	篠井住居跡・柱穴・築・先史土器・瓦器	発生～中世	篠井住居跡・柱穴・築・先史土器・瓦器	約350	H20.3.17～H20.5.30	507	
508 南久木町通跡6次調査	南久木町45番1号、45番3号の各一部	篠井・柱穴・柱建物・先史土器・瓦器等	発生～中世	篠井・柱穴・柱建物・先史土器・瓦器等	約91	H20.5.1～H20.5.31	508	
509 朝那川通跡	朝那川二丁目1250番5号、1256番1号、1267番1号、1270番の各一部	篠井・柱穴・柱建物・瓦器・土坑・柱穴・柱建物	古墳・古代	大内道路・篠井・土坑・柱穴・柱建物・土坑・柱穴・柱建物	約235	H20.5.1～H20.6.20	509	
510 宋住坂寺35次調査	宋住坂寺80号の一部	固縫・瓦器	古墳	瓦器・築造土器・柱穴・柱建物	約138	H20.5.12～H20.8.13	510	
511 柳町四反田通跡20次調査	柳町四反田通跡210番3号、220番1号の各一部	固縫・瓦器	古墳・古墳	堅穴建物・堅穴住居跡・土坑・柱穴・柱穴・柱建物・瓦器	約143	H20.7.1～H20.9.31	511	
512 松山城三之丸跡10次調査	城之内	固縫	瓦器	瓦器・築造土器・柱穴・柱建物・瓦器	120	H20.7.24～H20.9.31	512	
513 景本通跡11次調査	東本一丁目116番1号、116番2号、116番9号、117番1号の各一部	篠井・柱穴・柱建物・土坑・柱穴・築・先史土器・瓦器	発生～中世	篠井住居跡・柱穴・柱穴・柱建物・土坑・柱穴・瓦器	約165	H20.8.1～H20.9.26	513	
514 花瀬Q通跡	福吉町486番1号の一部	固縫	中世	堅穴住居跡・瓦器・築・柱穴／土坑・瓦器	約150	H20.8.1～H20.9.30	514	
515 松山城黒門跡4次調査	城之内	固縫	瓦器	瓦器・築・柱穴／瓦器・陶器	約45	H20.8.11～H20.10.27	515	
516 松山城三之丸跡11次調査	城之内	固縫	瓦器	瓦器・瓦器・柱穴	約73	H20.9.24～H21.1.16	516	
517 糸北通跡	糸北三丁目356番1号の一部	固縫・古墳	古墳・古代	堅穴柱建物跡・柱穴／先史土器・土坑・瓦器	約100	H20.10.27～H20.11.17	517	
518 久木高畠通跡71次調査	栄町90番の一部	固縫	発生～中世	堅穴住居跡・土坑・柱穴・瓦器・先史土器・瓦器	270	H20.11.17～H21.2.28	518	
519 通後北代通跡	通後北代1266番1号の一部	篠井・柱穴・柱建物・土坑・瓦器・陶器・陶製品	発生～中世	堅穴柱建物跡・土坑・瓦器・陶器・陶製品	約390	H20.11.17～H21.2.16	519	
520 三町通跡	三町一丁目412番1号の一部	篠井・柱／先史土器・瓦器・瓦器	発生～中世	柱穴・築・先史土器・瓦器・瓦器	約15	H20.11.25～H20.12.5	520	
521 桑谷東園通跡	桑谷一丁目967番1号の一部	堅穴・柱穴・瓦器・瓦器・柱建物跡／土坑跡・瓦器等	古墳～中世	堅穴住居跡・刀子・勾玉・瓦器・柱建物跡／土坑跡・瓦器等	約188	H20.12.4～H21.1.30	521	
522 松山城三之丸跡12次調査	城之内	固縫	瓦器	小僧清所東石臼・瓦器・瓦器・瓦器	約145	H20.12.10～H21.3.27	522	
523 勝林町木通跡16次調査	勝林町木通跡16番1号の一部	篠井・柱・瓦器	発生～中世	自然泥炭・瓦器・瓦器	11.6	H21.1.21～H21.1.27	523	
524 吉川通跡4次調査	吉川北三丁目318番1号の一部	篠井・柱穴・柱建物・土坑・瓦器・瓦器	発生～中世	篠井・柱穴・柱建物・土坑・瓦器・瓦器	594.025	H21.3.2～H21.5.31	524	



平成 20 年度 松山市埋蔵文化財本格調査位置図

### III 平成 20 年度 保存処理及び出土遺物整理

## 1. 保存処理

保存処理室では主に木製品の保存処理（PEG含浸処理）、金属製品の保存処理（減圧樹脂含浸）を行っており、必要に応じて現場に出向き、遺構・遺物の取り上げ、土層の剥ぎ取り作業も行っている。

(山本)

### 保存処理の方法

#### 1. 木製品の保存処理

PEG（ポリエチレンゴリコール）含浸処理を行っている。このPEG含浸法は、木製品中の水分をPEGに置き換える方法で、20%の水溶液に木製品を浸し、漸次、濃度を高めていき最終段階では100%濃度のPEG溶液をしみこませることになる。この処理は1～15年位を要する。

#### 2. 金属製品の保存処理

前処理（脱水・脱塩・安定化処理）を行い、順次クリーニング（付着しているゴミ・土壤・サビ等の除去）、減圧樹脂含浸を行っている。また、処理の終了した遺物は、収納システム（三菱ガス科学・RPシステム）により収納後、特別収蔵庫に保管している。以下、処理を行った遺跡名と遺物点数を下表に記す。

表1 平成20年度金属製品保存処理遺跡名一覧

(1)

No	遺跡名	点数	作業工程	刊行物
74	善鶴小学校構内遺跡	3	処理済・処理室保管	未報告（松山市埋蔵文化財調査年報1）
254	久米高畠遺跡22次調査	5	処理済・処理室保管	未報告（松山市埋蔵文化財調査年報VI）
405-6-C	東木道跡10次調査	3	処理済・処理室保管	未報告（松山市埋蔵文化財調査年報20）
417	香町遺跡	305	処理済・処理室保管	松山市文化財調査報告書第109集
447	久米高畠遺跡65次調査	2	処理済・処理室保管	松山市文化財調査報告書第121集
449	来住町遺跡14次調査	5	処理済・処理室保管	松山市文化財調査報告書第121集
482	久米高畠遺跡68次調査	3	処理済・処理室保管	松山市文化財調査報告書第132集
	中村長正寺遺跡	1	処理済・処理室保管	松山市文化財調査報告書第134集
142	久米高畠遺跡7次調査	1	脱塩中	松山市文化財調査報告書第136集
306	岩崎遺跡	41	脱塩中	松山市文化財調査報告書第71集
387	久米高畠遺跡51次調査	4	脱塩中	未報告（松山市埋蔵文化財調査年報14）
408-2-B	高井遺跡	8	脱塩中	松山市文化財調査報告書第126集
438	道後湯月町遺跡	4	脱塩中	松山市文化財調査報告書第123集
438-2	道後湯之町遺跡	1	脱塩中	松山市文化財調査報告書第123集
448-1	北条片町遺跡	3	脱塩中	松山市文化財調査報告書第122集
460-3-B	平井遺跡7次調査	3	脱塩中	未報告（松山市埋蔵文化財調査年報20）
478	柳味四反地遺跡16次調査	5	脱塩中	松山市文化財調査報告書第133集
480	柳味立派遺跡4次調査	2	脱塩中	未報告（松山市埋蔵文化財調査年報19）
505	道後今寺遺跡14次調査	53	脱塩中	未報告（松山市埋蔵文化財調査年報20）

## 平成 20 年度金属製品保存処理遺跡名一覧

(2)

No	遺 蹤 名	点数	作業工程	刊 行 物
	試掘（南久米町）	2	脱塗中	※H14 - 321

## 3. 動物遺骸体の保存処理

人骨、獣骨とも大部分のものが、土とともに出土した状態で搬入される。処理室ではこの余分な土を、竹べら・竹串・針先・ピンセットなどを用いて、徐々に取り除いて骨の取り出しを行っている。脆い状態のものはアクリル系合成樹脂を塗布し、乾燥、硬化させてから少しづつ土を取り除き、現れた部分にまた樹脂を塗る。この繰り返しを行って取り出した骨は、最後に樹脂溶液に浸し漬けして全体（内部まで）を強化し保護する。

表2 平成 20 年度動物遺骸体保存処理遺跡名一覧

No	遺 蹤 名	種類	点数	刊 行 物
74	松山城三之丸跡 10 次調査	獣骨	1	未報告

## 4. 遺構・遺物の取り上げ作業

発掘調査で検出される遺物は腐食し、脆弱化しているためそのまま取り上げることが困難なものがある。また、ほとんどの調査の場合、発掘した遺構を現場で保存できない。このような場合に遺構・遺物の取り上げを行う。遺物が小さい場合は簡単な方法で行い（骨を土ごと取り上げること、年報11、保存処理事業I-3参照）、遺物が大きく重量が増す場合は発泡ウレタン樹脂を用いて対象物全体を固めて取り上げる（年報X、保存処理事業I-3参照）。この発泡ウレタン樹脂での梱包は從来使用していた石膏やコンクリートでの梱包より軽く仕上がり、搬出、運搬の作業が軽減される。室内に搬入した後、時間をかけて精査することによって、発掘期間中に屋外で調査する以上の成果を期待できることも多い。

## 5. 土層の剥ぎ取り転写

転写面にエポキシ系樹脂を塗り、樹脂の補強のためガーゼなどで裏打ちを行い、樹脂が硬化後転写面より剥ぎ取る。剥ぎ取った土層は、パネル仕上げにして展示、保管する。この土層の剥ぎ取りは、発掘後も室内で実物をあらゆる角度から精査できる効果的な記録保存法ともなる。

## 6. 石造構築遺物の保存処理

今回は層塔、五輪塔、石標の強化処理を行った。石材は風雨による風化を受けていて表面が剥落しているものもあった。強化処理は石材強化剤OH100（ワッカ社製）を用いて、スプレー法及び浸漬法（どぶ漬け）で合計2回の強化剤塗布を行い、乾燥後表面を雨水より保護する撥水剤BS290（ワッカ社製）を塗布して処理を終了した。次ページに処理概要を記す。

## そうとうごりんとう 層塔・五輪塔保存処理

所在地 松山市苞木甲 313 番地 5  
期間 平成 20 年 11 月 4 日～平成 21 年 3 月 9 日  
石塔数 4 基  
原因 保存処理  
備考 石材強化、保全に伴う保存処理  
担当 山本健一



図 1 位置図

### 保存処理の概要

処理作業はまず、覆屋内床面に据え置かれている石材の見取り図を作成、現状の写真撮りの後石材の移動と層塔、五輪塔及び床面の掃除を行った。覆屋内の壁に薬剤を付着させない、外部に飛散させない、直射日光を避けることなどの目的で、寒冷紗、ビニールシート、ベニヤ板などで養生し、石材強化剤 OH100 をスプレーヤー、刷毛を用いて塗布した。強化剤は 2 週間の乾燥後 2 回目の塗布を繰り返した。乾燥後、覆屋床面に剥がれ落ちていた石材の接合、接合後の固化工業も行った。その後、覆屋内に雨水が吹き込む事が予想されるため、表面に撥水剤 BS290 を 2 回塗布し、2 週間の自然乾燥を行った。床に据え置かれていた石材は置き台を作成して覆屋内に戻し処理作業は終了した。

処理を施した層塔、五輪塔、床に据え置かれていた石材とも石材強化剤の塗布作業により剥落も止まり保全することができた。

### 保存処理作業を行った上で石塔の歴史的所見

軸部の 4 面に刻まれている梵字及び五輪塔の石材の加工構造から層塔の造営年代について、所見を加えてみる事とする。

層塔の軸部 4 面の梵字中、入り口から見て右面に刻まれている梵字（キリーク、図 1 参照）は、五輪塔（地輪）に刻まれている例では、13 世紀後半（鎌倉時代中期～後期）に見え始める一般に報告されている。しかしながら性急にこの年代を層塔に当てはめるには課題が有り、残り 3 面に刻まれている梵字との組み合わせ、梵字のもつ類例等の調査を入念に行う等の検討を要していると言える。ただし、この層塔は河野氏に係る伝承を残すことから、今後詳細な調査を進める事によって、祀られている人物像にも近づく事が出来るのではないだろうかと思われる。そのため、ここでの 13 世紀後半という年代は一応の目安と考えておきたい。

今回の保存処理を行った結果、造営時期、祀られている人物までの推定には至らなかったが、梵字が刻まれていることは河野氏等に係わる身分の高い人物を祀ったと考えても過言ではないだろう。

### <参考文献>

坂詰秀一 「図録 歴史考古学の基礎知識」 柏書房 1980 年

北条市教育委員会編 「北条市の文化財」 2003 年

(財) 元興寺文化財研究所 「元興寺文化財研究所 研究報告 2001 - 増澤文武氏退職記念 -」 2002 年

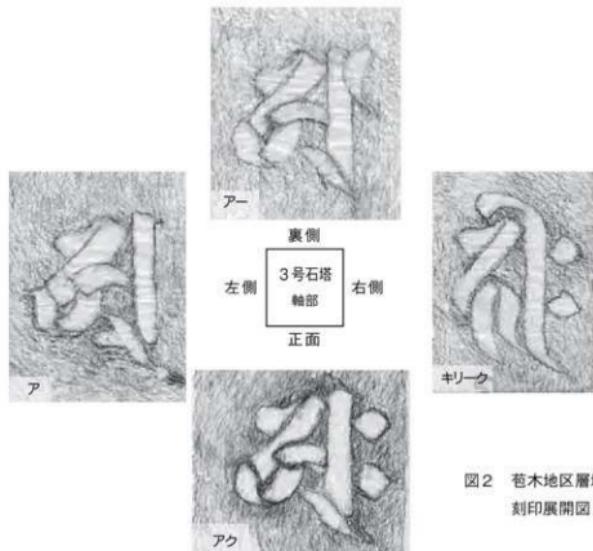


図2 苫木地区層塔  
刻印展開図



写真1 处理後の層塔・五輪塔

## 2. 平成 20 年度出土遺物整理の概要

当埋蔵文化財センターでは、近年の発掘調査の整理作業と並行して、20 年間の調査資料の整理作業をも行っている。今年度は昨年度に引き続き、膨大になってきた収蔵品の再整理と、保存処理を必要とする資料への対応を重点項目とした。

### 1. 遺 物

鉄 製 品：保存処理は基本的に当センターで行うが、特殊な資料や X 線撮影は外部委託している。今年度の重要資料の外部委託は、樽味四反地跡 20 次調査出土鉄斧の X 線透過撮影を財團法人元興寺文化財研究所に、朝日谷 1 号墳、鷹ノ子 1 号墳出土の馬具（轡）の保存処理を株式会社吉田生物研究所に委託した。

植物性遺物：保存処理は基本的に当センターで行うが、自然科学分析や特殊な資料の保存処理は外部委託している。今年度の木製品の保存処理は釜ノ口遺跡 9 次調査出土の木製品 23 点、福音寺遺跡竹ノ下地区出土の瓢箪、南江戸闘目遺跡出土の漆塗織維製品を株式会社吉田生物研究所に委託した。また、漆塗織維製品の化学分析も同研究所で行った。

動 物 遺 体：洗浄や保護の作業を行い、人骨の鑑定、獣種同定は外部委託している。今年度の鑑定、同定の外部委託はしていない。

土器・石器：収蔵庫整理では、報告書の刊行された遺跡資料を主体に選別作業をし、収納を行う。特に、展示や類例調査等で使用頻度の高い資料については、収蔵一覧を作成し、特別収蔵庫に一括保存した。

### 2. 写 真

ネ ガ：35 mm 判と 6 × 7 判は、注記や台帳作成作業が終わり次第、写真整理室の所定の場所に収納する。4 × 5 判は写真担当者が整理をする。

プリント：報告書刊行後に、ファイルをコンテナに収納し、収蔵庫で保管する。

### 3. 実側図・日誌・報告書原図

遺構測量図、遺物実測図、日誌、報告書原図は収蔵庫の所定の場所に保管する。

(山本)

IV 平成 20 年度  
受託事業

## 道後今市遺跡7次調査

所在地 松山市道後一万9番31号（包蔵地No.68）  
期 間 平成2年2月7日～同年3月31日  
面 積 379.53 m<sup>2</sup>  
原 因 緊急調査  
備 考 個人住宅建設に伴う調査  
担 当 重松佳久



図1 調査地位置図

**概要** 本調査は、平成元年度の国庫補助事業松山市内遺跡発掘調査として、個人住宅の建設に伴う埋蔵文化財調査を実施したもので、379.53 m<sup>2</sup>を調査対象とし、弥生時代中期後半から後期段階の溝状遺構や古墳時代初頭の掘立柱建造物の一部を検出した。

なお、本調査区は松山平野における弥生時代中期後半から後期にかけての密集型大規模拠点集落である文京遺跡の東域に接し、明治42年4月26日耕作中に発見された平形銅劍10口（東京国立博物館蔵）を出土した地点としても伝承されている。

本調査において検出された主要な遺構は、調査区南を東西に走る推定幅5m、深さ0.9～1.0mを測る弥生時代中期後半から後期段階の溝で、土層の堆積状況から段階的に埋没した様子が観察された。また、出土遺物の検出状況からも古墳時代初頭に最終的に埋没している状況が確認された。調査区北側では、弥生時代後期の堅穴式住居址1棟、古墳時代初頭の掘立柱建物址2棟、土坑状遺構3基などの集落遺構の一部が検出された。

まとめ 調査地は、松山城の北東山麓に位置し、僅かな標高差を持って緩やかに西北の弥生時代中期後半から後期にかけて成立した密集型大規模拠点集落である文京遺跡に連続する。本調査では僅かな範囲の確認しか出来ていないため、現段階では時期尚早の感は拭えないが、検出された弥生時代中期後半から後期段階の溝は、規模・位置・時期の観点から同時期に隆盛していた文京集落の南域の内外を区画する施設、若しくは密集型大規模集落の利水施設へと展開する可能性が高いものと考えられる。

この度は、平成20年度国庫補助事業を受けて、過去未整理の道後今市遺跡7次調査の整理業務を実施したものです。



ほしおかのぼりたて  
星岡登立遺跡2次調査

所在地 松山市星岡町 684-2, 684-5, 684-10  
684-11 (包蔵地Na 116)

期間 平成3年10月1日～平成4年1月13日

面積 443 m<sup>2</sup>

原因 緊急調査

備考 個人住宅建設に伴う調査

担当 重松佳久



図1 調査地位置図

**概要** 本調査は、平成3年度の国庫補助事業松山市内遺跡発掘調査として、個人住宅の建設に伴う埋蔵文化財調査を443 m<sup>2</sup>を調査対象として実施したものです。地山は北から南にかけて傾斜し、地形に平行若しくは直交するように建物遺構の配置が確認された。南北端の地形的な標高差は0.6mを測り、標準的な傾斜角度は3~4°に及ぶ。本調査において検出された主要な建物遺構は、等高線に沿った一間約2m幅で5間を測る東西軸の櫛列と一間約3m弱の東西の櫛の一部、そのほか多数の柱穴、土坑状遺構1基、幅1mの不明遺構1基で、出土遺物は、旧石器時代所産の国府型ナイフ形石器が1点のほか、弥生土器片、須恵器片、土師器片の遺物が確認されるがいずれも細片であり、後世の削平や攪乱により原位置を離れた遺物が遺物包含層を形成している。

**まとめ** 調査地は、松山平野の中央に位置する独立丘陵の一つ星岡丘陵を緩やかに下る北西端部に位置し、後醍醐天皇を中心とした勢力による元弘の乱の倒幕運動に呼応した在地の官方と幕府軍が衝突した中世星岡合戦の伝承地と言われる。合戦の規模や様子について文献（忽那文書、三島文書、楠木合戦注文、土居系図等）によると、元弘3年（1333）3月11日長門周防探題であった北条時直は、長門・周防両国の軍勢を率いて、水居津（三津浜、今出付近）に上陸、村々を焼き払いながら進軍し、星岡山に城郭を構え陣取った。これに対し、河野氏族で官方に加勢する在地の土豪であった土居氏、得能氏、忽那氏、祝氏の連合軍は、星岡山周辺で合戦しこれを攻め落とし、この敗戦を機に鎌倉幕府は滅亡へのあゆみを進めたと言われている。調査では、包含層内、遺構内に混入する炭化物が相当量確認されるほか、比較的大規模な中世時期の櫛列施設が地形に沿って配置されることなどから、星岡城を取り巻く櫛等の付帯施設の一部である可能性が高いものと考えられる。

この度は、平成20年度国庫補助事業を受けて、過去未整理の星岡登立遺跡2次調査の整理業務を実施したものです。

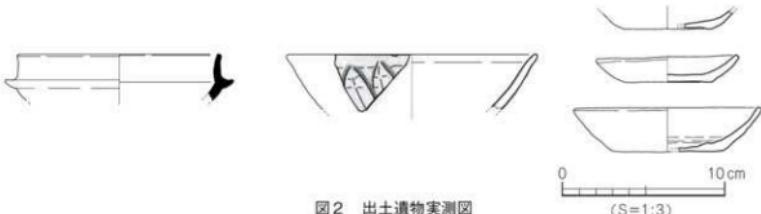


図2 出土遺物実測図

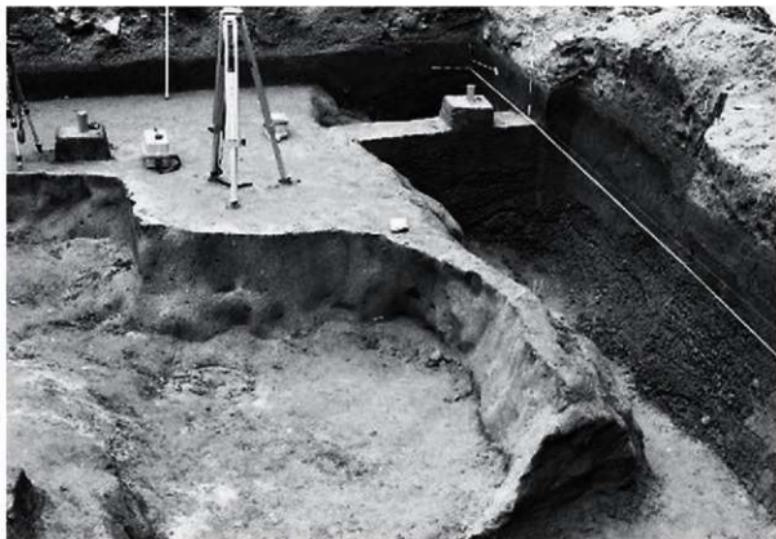


写真1 道後今市遺跡7次調査 溝状遺構検出状況（北西より）



写真2 星岡登立遺跡2次調査 構列検出状況（北西より）

V 平成 20 年度  
普 及 啓 発 事 業

## 平成 20 年度普及啓発事業

当埋蔵文化財センターは、松山市内における遺跡の発掘調査を行うとともに、出土遺物や記録資料などを整理・保管している。発掘調査終了後は、随時現地説明会を開催するとともに発掘調査報告書を刊行することにより、広く一般に公開している。

また付属の考古館は、地域文化の発展・向上並びに調査研究活動の振興を図ることを目的として設置され、展示会・講演会、体験学習セミナーを開催するなど、市民一人ひとりの生涯学習を支援しながら、埋蔵文化財保護思想の普及啓発に努めている。平成 20 年度は下記の各種事業を実施した。

- |            |                    |            |
|------------|--------------------|------------|
| 1. 展示活動    | 2. 講演会・出前講座等教育普及活動 | 3. 収集・保管活動 |
| 4. 広報・出版活動 | 5. 資料の貸出・調査        | 6. 職員研修    |

一方、埋蔵文化財センターに隣接して設置されている文化財情報館は、松山市内で出土した文化財資料を整理・保管するとともに市民に開かれた歴史学習の場としての活用を図った。

### 1. 展示活動（表 1）

常設展示室は、「海を介した文化交流の中継地点としての伊予文化の独自性と、そこに生きた人々の姿」を解明し、「見る」「聞く」「触れる」「考える」を展示の基本コンセプトとした立体的な展示を心がけている。展示品は、松山平野で出土した考古資料約 500 点である。また、新しい企画として当年度は、（1）埋蔵文化財センター事業報告展「考古館・楽しかった 2007」、（2）特別企画展「葉佐池古墳と播磨塚天神山古墳」展を開催した。

常設展示室に隣接した特別展示室では、期間を限定し開催する展示会として（3）発掘へんろ展、（6・7）発掘調査速報展〔前期展・後期展〕、（8）特別展、（9）松山城展、（10）特別企画展を開催した。その他では（4）写真展を特別展示室での展示の紹介を展示期間にあわせて松山市役所で 6 回開催し、（5）考古館ロビー展を 3 回開催した。

#### （1）埋蔵文化財センター事業報告展 「考古館・楽しかった 2007」（表 1-1）

この展示会は、新しい企画展として開催した。内容は、考古館が 2007 年（平成 19 年度）に実施した展示会と出前考古学講座、古代体験教室の各事業の様子を写真パネルにして展示すると共に、古代体験教室で製作した作品も同時展示した。

#### （2）常設展示室 特別企画『葉佐池古墳と播磨塚天神山古墳展』（表 1-2）

新たな試みとして常設展示室にて特別企画『葉佐池古墳と播磨塚天神山古墳』を開催した。葉佐池古墳と播磨塚天神山古墳から出土した遺物約 100 点と出土状況の写真を展示した。

#### （3）第 5 回 四国・埋蔵文化財センター巡回展 「発掘へんろ—遺跡でめぐる伊豫・土佐・讃岐・阿波一」（表 1-3）

この展示会は、四国内の埋蔵文化財センター 5 団体が合同で開催する巡回展である。5 団体が近年、発掘調査して出土した遺物を持ち寄り、今までに蓄積された情報を提供・交換することによって、観覧者の方々に埋蔵文化財の重要性を認識していただこうというものである。

#### （4）松山市考古館写真展（表 1-4）

この展示会は、考古館で開催する各展示会の案内を兼ねて、松山市市役所1階ロビーにおいて遺跡や遺物を写真パネルと解説パネルで紹介するものである。当年度は6回開催した。

#### (5) 松山市考古館ロビー展（表1-5）

この展示会は、考古館のロビーにて3回開催した。

#### (6・7) 発掘調査速報展「むかし・昔のまつやまを掘る」（表1-6・7、写真1）

この展示会は、前年度に松山市内で相次いで発見された重要な遺跡・遺物を速報的に紹介し、新たに発掘調査報告書が刊行された遺跡について、写真やイラスト・図面を交えながら紹介するものである。当年度は、前期展と後期展の2回に分けて実施した。前期展では前年度の平成19年度に発掘調査された遺跡を取り上げて、その出土遺物約100点を展示し、後期展では平成19年度に発掘調査報告書が刊行された高浜地区の鶴ヶ峰遺跡と来住・久米地区的遺跡を展示し、報告書に掲載した代表的な遺物約80点や調査時の写真パネルを展示した。

#### (8) 特別展「吉野ヶ里遺跡」（表1-8）

この展示会は、考古館最大の事業であり、系統的な展示にするため県内外の博物館等から貴重な遺物を借用し、展示を展開するものである。当年度は、弥生時代遺跡として全国的に注目されている佐賀県の吉野ヶ里遺跡からの出土品約100点や写真パネルを展示した。

#### (9) 松山城展「堀之内の過去・現在・未来」（表1-9）

松山城では、平成13年度から発掘調査が実施され、毎年貴重な出土品や遺構が発見されている。そこで、発掘の成果をより多く市民に知って頂くために、「堀之内の過去・現在・未来」と題し平成20年に三之丸の発掘調査で出土した考古資料を主体に約50点を展示とともに、堀之内の今後の整備計画図なども展示して市民の方々に紹介した。

#### (10) 特別企画展「倭人伝・山陰と西瀬戸内の弥生文化」（表1-10）

この展示会は、鳥取県教育委員会との共同企画事業で、鳥取県教育委員会等から弥生時代の青谷上寺地遺跡を中心とした木製品等約90点を借用し、展示した。また、合わせて山陰と西部瀬戸内の弥生文化を深く理解して頂くためのシンポジュームを実施した。

## 2. 教育普及活動（表2～7）

教育普及活動としては、一般市民や小中高等の児童生徒を対象に埋蔵文化財保護思想の普及啓発を目的とした講演会・出前教室・体験学習セミナー・考古学講座他、職員の資質向上を目的とした調査研究会等がある。

#### (1) 講演会・展示解説会、演奏会（表2、写真2）

各展示会に伴う展示解説会、講演会、演奏会等を行った。また、当年度から考古館ロビーにて筝コンサートを開催し、好評を得た。また、特別企画展に合わせて「弥生文化シンポジュームとっとり倭人伝～山陰と西部瀬戸内の弥生文化～」と題し松山市コミュニティセンターにてシンポジュームを開催し、好評を得た。

#### (2) 初心者のための考古学講座（表2-5、写真3）

当年度は『魏志倭人伝』をテーマに同時期の松山市内出土の遺物や遺跡などを解説し、遺跡見学も行った。講座は計10回実施した。

## (3) クラフト教室「石を磨いて勾玉作り」(表3-1)

当教室は、石製の勾玉作りを体験するので大人から子供まで自由な発想で石製勾玉を製作することにより古代人の苦労や知恵を学ぶことを目的として開催した。

## (4) 夏休み古代体验教室 (表3-3)

夏休みの中小学生と親子を対象にしたもので、火おこしと石製勾玉作りをすることにより、古代人の生活や知恵を学ぶことを目的に実施した。

## (5) 夏休み特別企画・考古館探検 (表3-4、写真4)

夏休みに小中学生を対象に考古館探検と題し、考古館のバックヤードを見学し、展示品を画用紙に描いて観察してもらい、古代人の生活や知恵を学ぶことを目的に実施した。

## (6) 大人のための体验學習セミナー「ガラス勾玉を作ろう」(表3-5)

当セミナーは、中学生以上の市民を対象にしたもので、古代風ガラス勾玉を製作することにより、古代人の苦労や知恵を学ぶことを目的に実施した。

## (7) 体验学習 (表4、写真5~7)

当年度は、116件の団体、合計4,498人が来館され、常設展示や収蔵庫等の施設見学をするとともに、火おこし体験などを行った。

## (8) 現地説明会 (表5)

遺跡の見学を通して、市民が埋蔵文化財に対する興味や関心をより一層持つてもらうために開催するものである。当年度は、12ヶ所の遺跡において現地説明会を実施した。

## (9) 博物館学芸員実習

平成6年度から博物館学芸員資格の取得を希望する学生に対し、実習を実施している。当年度は、8~9月の期間に10名を受け入れ、屋外実習と屋内実習を実施した。屋内実習では、展示実習（展示解説や来館者案内）や体験講座の実習（火おこし体験・石製勾玉の製作の指導方法）、展示道具の整理などのカリキュラムを実施した。

## (10) 職場体験 (表6、写真8)

当センターでは、中・高校生教育の一環として実施されている「職場体験學習」を受託している。当年度は4校の生徒を受け入れ、埋蔵文化財の発掘調査業務や屋内整理業務等を体験した。

## (11) 出前考古学講座 (表7、写真9~16)

「総合的な學習の時間」、「選択教科社会科の授業」、「文化祭」等の利用では、各学校からの要請を受けて、学校や公民館に赴き出前考古学講座を実施した。当年度は126回、合計6,787人の方々に実施した。

## (12) 調査研究会

発掘現場における調査方法や報告書作成のために各分野での第一人者を招聘し、助言をいただき、職員の資質向上をめざしている。

## 3. 収集・保管活動

## (1) 大連古代ハス

平成10年4月に松山市農業指導センターから古代ハスの株を分けていただき、考古館前で栽培している。この古代ハスは、平成8年1月に中国大連市の觀光訪問團が表敬訪問で松山を訪れた際に、

大連市観光局局長の張宏安氏から大連市で出土した1千年前のハスの種子を松山市に寄贈していただいたものである。当年度は、60輪以上が開花した。

#### 4. 広報・出版活動（表8・9）

当センターでは、考古館主催の展示会・講演会などを開催するに先立ち、多くの観覧者を募るためにポスターやパンフレットを発刊している。また、発掘調査の成果を公開する発掘調査報告書を刊行している。研究者はもとより市民の方々においても、これらの出版物を大いに活用していただくことで埋蔵文化財保護の普及啓発に役立っている。

#### 5. 資料の貸出・調査（表10・11）

当センターでは、各博物館や教育委員会主催事業への出展や、研究者からの資料調査の要望などに応じるべく、可能な限りの資料の貸出や調査協力を実行している。

#### 6. 職員研修・会議（表12）

当センターでは、独立行政法人奈良文化財研究所で実施されている発掘技術者研修をはじめとして、各種研修や会議に参加している。こうした研修や会議には、積極的に参加することにより、職員の資質向上と業務の円滑な推進を図っている。

#### 7. 考古館月別入館者数調（表13）

表1 展示会一覧（1）

No.	展示会名	会期	会場	観覧者数（人）
1	埋蔵文化財センター事業報告展 「考古館・楽しむか2007」	平成20年4月4日（金）～4月13日（日）	特別展示室	414
2	常設展示常特別企画展 「東北池古墳と雄略天神山古墳」	平成20年4月5日（土）～5月11日（日）	常設展示室	1,024
3	第5回 四国・埋蔵文化財センター巡回展 「发掘へんろ～道跡でめぐる伊豫・土佐・讃岐・阿波～」	平成20年4月19日（土）～7月13日（日）	特別展示室	3,356
4	松山市考古館写真展	①平成20年6月4日（水）～6月13日（金） ② * 7月23日（水）～8月1日（金） ③ * 9月9日（火）～9月19日（金） ④ * 10月16日（木）～10月24日（金） ⑤ * 12月9日（火）～12月19日（金） ⑥平成21年2月3日（火）～2月13日（金）	松山市役所本館	一般市民 対象の為 不明
5	松山市考古館 ロビー展 ①「古代の港（ハス）展」 ②「坂の上の雲」1,000人のメッセージ展 ③特別企画「平和アート～戦から歌へ～展」	①平成20年6月18日（水）～平成21年3月31日（火） ② * 6月7日（土）～7月31日（水） ③ * 8月1日（金）～8月31日（土）	ロビー	① 12,329 ② 2,534 ③ 1,273
6	発掘調査連携展（前期展） 「むかし・昔のまやまを掘る」	平成20年7月19日（土）～8月31日（日）	特別展示室	1,758

## 普及啓発事業

表1 展示会一覧（2）

No.	展示会名	会期	会場	観覧者数(人)
7	祭振調査報告展「後醍醐」「むかし・昔のまつやまを語る」	平成20年9月6日(土)～9月30日(火)	特別展示室	595
8	特別展「古野ヶ里道路」	平成20年10月11日(土)～11月24日(月)	特別展示室 常設展示室	2311
9	松山城展「城之内の過去・現在・未来」	平成20年12月2日(火)～平成21年1月25日(月)	特別展示室	1,238
10	特別企画展 「唐人伝・山陰と西部灘内の弥生文化」	平成21年2月3日(火)～3月22日(日)	特別展示室	2,665

表2 教育普及活動（講演会等）一覧（1）

No.	事業名	日時	会場	講師・報告者	聴講者数(人)
1	第5回 四国・埋蔵文化財センター巡回展 「发掘へんろ」展示説明会	①平成20年4月19日(土) ② * 5月24日(土) ③ * 6月14日(土)	講堂	①松山市文化財保護審議委員 名本二雄 ②セシナード主任学芸員 梅木謙一 ③愛媛県埋蔵文化財調査センター調査員 萩田圭子 ④愛媛県埋蔵文化財調査センター調査員 山内美樹 松山市教育委員会主事 高見和長	①65 ②40 ③61
2	第5回 四国・埋蔵文化財センター巡回展 「发掘へんろ」講演会	平成20年7月12日(土)	講堂	愛媛大学法文学部助教 三吉秀充	45
3	ロビー講（こと）コンサート	①平成20年4月19日(土) ② * 5月3日(土) ③ * 6月14日(土) ④ * 7月19日(土) ⑤ * 8月30日(土) ⑥ * 9月27日(土) ⑦ * 10月18日(土) ⑧ * 11月8日(土) ⑨ * 12月13日(土)	エントランス	①正善邦栄会奉事部員 林豊実恵 正善邦栄会奉事部員 内鳥雅子 正善邦栄会奉事部員 久保郡村香 正善邦栄会奉事部員 前谷雅貴 正善邦栄会奉事部員 内鳥雅子 文化行政課子供青少年課 小学生 正善邦栄会奉事部員 岩崎雅也 正善邦栄会奉事部員 前谷雅貴 正善邦栄会奉事部員 久保郡村香 正善邦栄会奉事部員 前谷雅貴 正善邦栄会奉事部員 内鳥雅子 正善邦栄会奉事部員 谷本千く 正善邦栄会奉事部員 前谷雅貴 正善邦栄会奉事部員 前谷雅貴 正善邦栄会奉事部員 久保郡村香 正善邦栄会奉事部員 内鳥雅子 正善邦栄会奉事部員 林豊実恵 正善邦栄会奉事部員 内鳥雅子 正善邦栄会奉事部員 久保郡村香 正善邦栄会奉事部員 内鳥雅子 正善邦栄会奉事部員 林豊実恵 正善邦栄会奉事部員 谷本千く 正善邦栄会奉事部員 前谷雅貴 正善邦栄会奉事部員 内鳥雅子	①43 ②38 ③23 ④16 ⑤34 ⑥26 ⑦44 ⑧33 ⑨20 ⑩18 ⑪38 ⑫45
4	特別企画「葦佐治遺跡と播磨塚天神山古墳展」 展示説明会	平成20年4月26日(土)	講堂	当セシナード主任調査員 萩田茂範 当セシナード調査員 吉岡和哉	23
5	初心者のための考古学講座「魏志倭人伝の考古学」 第1回「魏志倭人伝と松山の出土品」 第2回「高知の山へ～行道跡～」 第3回「大野ヶ里の迷路跡」 第4回「大野ヶ里の迷路跡」 第5回「現地見学・大野ヶ里道路」 第6回「現地見学・文京遺跡」 第7回「赤色～朱・茜～」 第8回「罕有の鉢」 第9回「美しい古陶・分銅形土製品～」 第10回「勾玉」	①平成20年5月17日(土) ② * 6月7日(土) ③ * 7月5日(土) ④ * 8月2日(土) ⑤ * 9月6日(土) ⑥ * 10月4日(土) ⑦ * 11月1日(土) ⑧ * 12月6日(土) ⑨平成21年2月7日(土) ⑩ * 3月7日(土)	講堂 現場 講堂	①セシナード主任学芸員 梅木謙一 ②愛媛県埋蔵文化財調査センター調査員 萩田昌紀 ③セシナード主任学芸員 梅木謙一 ④セシナード主任学芸員 梅木謙一 ⑤セシナード主任学芸員 沢谷光司 ⑥正善邦栄会奉事部員 田崎博之 ⑦正善邦栄会奉事部員 田崎博之 ⑧松山市文化財保護審議委員 名本二雄 ⑨正善邦栄会奉事部員 小玉ア紀子 ⑩セシナード主任学芸員 小玉ア紀子	①65 ②61 ③65 ④61 ⑤61 ⑥55 ⑦60 ⑧58 ⑨57 ⑩63
6	発掘調査報告会 「むかし・昔のまつやまを語る」	平成20年7月19日(土)	講堂	①正善邦栄会奉事部員 相原秀仁 松山市教育委員会文化財課主事 西村直人 ②古野瀬塚跡研究会 松山真二 ③セシナード調査員 宮内一郎 ④セシナード主任調査員 萩田茂範・横井進一	①51 ②67 ③31
7	特別製特別企画 「鏡で楽しむ古野ヶ里風景」	平成20年10月11日(土) ② * 10月11日(土)	講堂	①当セシナード主任学芸員 梅木謙一 ②当セシナード主任学芸員 梅木謙一	①2 ②6
8	特別展「古野ヶ里道路」 展示説明会	平成20年10月18日(土)	講堂	当セシナード主任学芸員 梅木謙一	69
9	特別展「古野ヶ里道路」 第1回「发掘・古野ヶ里道路」 第2回「古野ヶ里道路・古文道跡」 第3回「古野ヶ里の青銅鏡について」	①平成20年10月18日(土) ② * 11月15日(土) ③ * 11月22日(土)	講堂	①松山市教育委員会社会教育・文化財課 副課長・七田忠明 ②愛媛大学法文学部教授 下條信行 ③松山市文化財保護審議委員 名本二雄	①131 ②80 ③63

## 普及啓発事業

表2 教育普及活動（講演会等）一覧（2）

No.	事業名	日 時	会 場	講 師・報告者	聴講者数 (人)
10	松山城廻 賀示解説会	平成20年12月23日(火)	講堂	松山市教育委員会主事 西村直人	89
11	特別企画展記念講演会 第1回「鳥取・淡生の古跡」 第2回「淡生時代の木の文化」 第3回「愛媛県・淡生時代の土木・建築部材」 第4回「发掘された鳥取の古代」	①平成21年1月24日(土) ② * 2月21日(土) ③ * 2月28日(土) ④ * 3月14日(土)	講堂	①鳥取県教育委員会 須田竜彦 ②鳥取県埋蔵文化財センター 茶谷 滉 ③伊勢原埋蔵文化財調査センター 関田敬彦 ④鳥取県教育委員会 中原 齊	①46 ②54 ③41 ④48
12	特別企画展 淡生文化シンポジウム 「とっとり豊人伝～山縣と西部灘口内の淡生文化～」	平成21年2月14日(土)	松山市 総合コミュニティセンター 企画展示ホール	九州大学名誉教授 西谷 正 愛媛大学名誉教授 下條信行 鳥取県教育委員会 須田竜彦 鳥取県教育委員会 高尾浩司 当センター主任学芸員 横木謙一	304

表3 教育普及活動（体験教室）一覧

No.	事業名	日 時	会 場	参 加 者 数 (人)
1	クラフト教室 「石を書いて勾玉つくり」	①平成20年4月29日(火・祝) ② * 10月25日(土) ③平成21年1月17日(土) ④ * 3月20日(金・祝) ⑤ * 2月14日(土)	①～⑤ 講堂・松山市考古館屋外 ④ 松山市総合コミュニティセンター 企画展示ホール屋外	①57 ②77 ③19 ④28 ⑤73
2	親子体験教室	平成20年5月3日(土)	松山市考古館屋外	16
3	夏休み古代体験教室	①平成20年7月26日(土) ② * 8月9日(土) ③ * 8月23日(土) ④ * 8月29日(金)	講堂 松山市考古館屋外	①41 ②79 ③73 ④83
4	夏休み特別企画・考古館探検	平成20年8月30日(土)	講堂 松山市考古館屋外	11
5	大人のための体験学習セミナー 「ガラス勾玉を作ろう」	①平成20年11月8日(土) ② * 12月20日(土)	①講堂 ②講堂 松山市考古館屋外	①42 ②33

表4 教育普及活動（体験学習）一覧（1）

No.	学校名及び団体名	学 年	期 間	内 容	参 加 者 数 (人)
1	土居町3D老人会	—	平成20年4月3日(木)	展示見学	14
2	郷土会	—	* 4月13日(日)	*	7
3	松山市立鶴川中学校	1年生	* 4月18日(金)	展示見学・火おこし体験	187
4	デイサービスセンターゆうゆう	—	* 4月19日(土)	展示見学	15
5	松山市立味生第二小学校	6年生	* 4月22日(火)	展示見学・火おこし体験	94
6	小野公民館	—	* 4月23日(水)	展示見学	42
7	松山市立宮前小学校	6年生	* 5月8日(木)	展示見学・火おこし体験	120
8	きらぐ会	—	* 5月10日(土)	展示見学	6
9	松山市立道後小学校	6年生	* 5月14日(水)	展示見学・火おこし体験	131
10	松山市立小野小学校	6年生	* 5月23日(金)	*	163
11	松山市立う学校	—	* 5月23日(金)	展示見学	7
12	松山市立イスカウト第12団	—	* 5月25日(日)	展示見学・火おこし体験	14
13	松山市立味酒小学校	6年生	* 5月27日(火)	*	178
14	松山市立味生小学校	6年生	* 6月4日(火)	*	137
15	私立済美平成中等教育学校	1年生	* 6月4日(火)	*	135

表4 教育普及活動（体験学習）一覧（2）

No.	学校名及び団体名	学年	期間	内容	参加者数（人）
16	愛媛大学 国際交流会館	—	平成20年6月5日（木）	展示見学・火おこし体験	13
17	松山市立株生第二小学校	3年生	* 6月6日（金）	展示見学	22
18	松山市文化財めぐり	—	* 6月6日（金）	*	32
19	松山市立高浜中学校	1年生	* 6月13日（金）	展示見学・火おこし体験	46
20	味牛公長館	—	* 6月20日（金）	展示見学	31
21	松山こども夢ひろば	—	* 6月21日（土）	*	50
22	デイサービスセンター 潤見	—	* 7月3日（木）	バス見学・展示見学	15
23	デイサービスセンター ジョイフル	—	* 7月4日（金）	*	12
24	松山市立山島小学校	5・6年生	* 7月8日（金）	展示見学・火おこし体験	8
25	デイサービスセンター ジョイフル	—	* 7月8日（金）	バス見学・展示見学	12
26	デイサービスセンター ジョイフル	—	* 7月9日（金）	*	6
27	デイサービスセンター ジョイフル	—	* 7月10日（木）	*	9
28	山口町下松市教育委員会	—	* 7月11日（金）	*	5
29	「五月の里窯」体験学習	—	* 7月13日（日）	陶器作り	32
30	松山市文化財めぐり	—	* 7月20日（日）	バス見学・展示見学	18
31	「五月の里窯」体験学習	—	* 7月20日（日）	陶器作り	82
32	デイサービスセンター そかよか	—	* 7月23日（水）	バス見学・展示見学	7
33	松山市小学校研修主任会	—	* 7月24日（木）	展示見学	90
34	松山市学校社会科主任会	—	* 7月25日（金）	*	49
35	松山市学校事務主任会	—	* 7月29日（火）	*	96
36	アユーラステーション松山	—	* 7月30日（水）	バス見学・展示見学	16
37	つくり園	—	* 8月1日（金）	展示見学	37
38	久枝児童クラブ	—	* 8月5日（火）	講義・展示見学・火おこし体験	41
39	松山市教育研究協議会	—	* 8月7日（木）	展示見学	86
40	味牛おひさま子供クラブ	—	* 8月22日（金）	講義・展示見学・火おこし体験	64
41	「五月の里窯」体験学習	—	* 8月24日（日）	陶器作り	85
42	海外インターネット・ラップ	—	* 8月26日（火）	展示見学・火おこし体験・匂玉作り	5
43	「五月の里窯」体験学習	—	* 9月7日（水）	陶器作り	36
44	インターンシップ実習	—	* 9月9日（火）	火おこし体験・匂玉作り	1
45	デイサービスセンター ミネルワ	—	* 9月10日（木）	展示見学	13
46	デイサービスセンター ミネルワ	—	* 9月10日（水）	*	13
47	愛媛県国際キャラクター	—	* 9月13日（土）	*	10
48	ササエリ匂会	—	* 9月18日（木）	*	11
49	奈良県12月生まれ古希祝い同窓会	—	* 9月30日（火）	*	22
50	今治市立鳥生小学校	6年生	* 10月1日（水）	展示見学・火おこし体験	79
51	久万高原文化協会	—	* 10月7日（火）	展示見学	37
52	小野公民館 ふるさとめぐり教室	—	* 10月18日（土）	*	25
53	千葉県議会市 市議会議員	—	* 10月21日（火）	*	10
54	株式会社 フクイ	—	* 10月23日（木）	展示見学・火おこし体験	17
55	小野公民館高齢者クラブ	—	* 10月24日（金）	展示見学	43
56	佛句の会	—	* 10月25日（土）	*	6
57	南予学林組合	—	* 10月26日（日）	*	12
58	土居組農会ふれあいサロン	—	* 10月28日（火）	*	23
59	松山市立浅海小学校	5・6年生	* 10月29日（木）	展示見学・火おこし体験	13
60	伊予市立下灘小学校	6年生	* 10月29日（木）	*	21
61	愛媛県立松山北高等学校	1年生	* 10月29日（木）	職場体験学習	3
62	喜久栄クラブ	—	* 10月30日（木）	展示見学	36
63	松山市立久米中学校	2年生	* 10月30日（木）	職場体験学習 打ち合わせ	6
64	グーループームいいい	—	* 10月31日（金）	展示見学・火おこし体験	14
65	今治市立吉海小学校	6年生	* 10月31日（金）	展示見学	29
66	松山市立桑原中学校	2年生	* 10月31日（金）	職場体験学習	3
67	愛媛大学 授業	—	* 11月1日（土）	展示見学	5
68	新玉公民館婦人部	—	* 11月6日（木）	展示見学・火おこし体験	31
69	松山市立雄琴中学校	2年生	* 11月6日（木）	職場体験学習 打ち合わせ	9
70	湯山地区高齢者クラブ 文化財めぐり	—	* 11月7日（金）	展示見学	35
71	松山市立久米中学校	2年生	* 11月11日（火）	職場体験学習	6

表4 教育普及活動（体験学習）一覧（3）

No.	学校名及び団体名	学年	期間	内容	参加者数（人）
72	松山市立雄新中学校	2年生	平成20年11月11日（火）	職場体験学習	10
73	松山市立雄新中学校	1年生	* 11月11日（火）	満・物学習	8
74	松山市立桑原中学校	2年生	* 11月12日（水）	職場体験学習	3
75	愛媛大学 研学生	—	* 11月12日（水）	展示見学・火おこし体験	18
76	私立新田青雲中等教育学校	1年生	* 11月14日（金）	展示見学・火おこし体験・勾玉作り	113
77	西条市歴史資料館	—	* 11月15日（土）	展示見学	44
78	愛媛県立松山北高等学校	1年生	* 11月19日（水）	職場体験学習	3
79	桑原織入会	—	* 11月19日（水）	展示見学	27
80	伊予市夢こう会	—	* 11月20日（木）	*	35
81	すけっと工房	—	* 11月23日（日）	*	3
82	都市環境学習センター	—	* 12月7日（日）	草木染	12
83	デイサービスセンター あらり	—	* 12月11日（木）	展示見学	10
84	松山総合公園みどりの集い 森の幼稚園	—	* 12月14日（日）	*	60
85	松山総合公園みどりの集い 森の幼稚園	—	* 12月21日（日）	*	49
86	愛媛大学 授業	—	* 12月23日（火）	講義・展示見学	56
87	松山総合公園みどりの集い 森の幼稚園	—	平成21年1月11日（日）	展示見学	16
88	二丸商会	—	* 1月22日（木）	勾玉作り	17
89	松山総合公園みどりの集い 森の幼稚園	—	* 1月25日（日）	展示見学	25
90	アトムグループ 老人保健施設 長安	—	* 2月1日（日）	*	20
91	第一高等学院	—	* 2月3日（火）	展示見学・火おこし体験・勾玉作り	13
92	アトムグループ 老人保健施設 れんげ荘	—	* 2月4日（水）	展示見学	24
93	アトムグループ デイケーションセンター 八食	—	* 2月5日（木）	*	27
94	アトムグループ デイサービスセンター 白寿	—	* 2月6日（金）	*	26
95	愛媛県立松山盲学校	—	* 2月10日（火）	展示見学・火おこし体験	8
96	アトムグループ 天元病院 竹林館	—	* 2月10日（火）	展示見学	37
97	アトムグループ デイサービス 和楽	—	* 2月13日（金）	*	38
98	愛媛県開拓チアースクール	—	* 2月14日（土）	*	11
99	松山総合公園みどりの集い 森の幼稚園	—	* 2月15日（日）	*	35
100	アトムグループ デイサービス 天鵝庵	—	* 2月17日（火）	*	42
101	第一高等学院	—	* 2月19日（木）	展示見学・火おこし体験・勾玉作り	2
102	東温市立北吉井小学校	5年生	* 2月26日（木）	展示見学・火おこし体験	96
103	アトムグループ ほしおか	—	* 2月27日（金）	展示見学	25
104	松山市立双葉小学校	—	* 2月27日（金）	*	4
105	アトムグループ 希望ヶ丘	—	* 2月28日（土）	*	17
106	松山市立みどり小学校	5年生	* 3月4日（水）	*	137
107	武道館立祇部小学校	6年生	* 3月5日（木）	展示見学・火おこし体験	59
108	松山市立さくら小学校	5年生	* 3月5日（木）	*	166
109	佛勾の会	—	* 3月5日（木）	展示見学	10
110	松山市立双葉小学校	5年生	* 3月10日（火）	展示見学・火おこし体験	127
111	松山市立旭生小学校	6年生	* 3月10日（火）	*	128
112	松山市立桑原中学校	1～3年生	* 3月11日（水）	*	10
113	松山市立湯山中学校	1年生	* 3月11日（水）	展示見学	97
114	すけっと工房	—	* 3月15日（日）	*	2
115	松山市立湯山中学校	1～3年生	* 3月19日（木）	展示見学・火おこし体験	5
116	松山市文化めぐり	—	* 3月22日（日）	展示見学	35

表5 教育普及活動（現地説明会）一覧

No.	遺跡名	日 時	遺跡の主な概要	見学者数(人)
1	平井遺跡8次調査	平成20年5月17日(土) 13:30～15:00	弥生～古代集落 弥生土器、石器、須恵器、土師器、鐵器	60
2	南久米町道路6次調査	平成20年5月25日(日) 終日	弥生時代懸穴住居、土坑、古代～中世掘立柱建物、溝 弥生土器、須恵器、土師器、青磁碗	30
3	朝美辻遺跡	平成20年6月14日(土) 10:00～11:30	河川、土坑 土師器、須恵器、木製品	280
4	水泥道路7次調査 平井遺跡9次調査	平成20年6月29日(日) 10:00～11:30	(水泥7次) 近世水田、煙作遺構、溝 弥生土器、土師器、陶磁器、石器 (平井9次) 古代土坑、溝、中世土坑 須恵器、土師器	40
5	筋道Q遺跡	平成20年9月20日(土) 9:00～10:00	中世集落(掘立柱建物、溝) 土師器、白磁、燒土塊群	30
6	東本遺跡11次調査	平成20年9月23日(月・祝) 10:00～11:30	弥生時代後期住居、土坑 弥生土器、石器、石製品	50
7	稚味四反堆遺跡20次調査	平成20年9月27日(土) 10:00～11:00	古墳時代集落(懸穴住居、掘立柱建物)。近世墓 弥生土器、土師器、須恵器、大型鉄斧	130
8	衣山北組遺跡	平成20年11月15日(土) 10:00～11:00	古代集落、掘立柱建物 土師器、須恵器	41
9	桑原東稻葉遺跡	平成21年1月24日(土) 10:00～11:00	古墳時代集落、懸穴住居、掘立柱建物 須恵器、土師器、石製駕籠車	25
10	中村松田5次調査	平成21年1月25日(日) 10:00～11:00	弥生時代後期住居、溝、中世井戸 弥生土器、土師器、石器	40
11	道後北代遺跡	平成21年1月25日(日) 13:30～14:30	流路、中世集落(掘立柱建物、溝、水田) 繩文土器、弥生土器、須恵器、土師器、青磁	30
12	久米高畠遺跡71次調査	平成21年2月21日(土) 10:00～11:00	弥生時代懸穴住居、溝 弥生土器、土師器、須恵器、瓦器	45

表6 教育普及活動（職場体験）一覧

No.	学校名・学年	日 時	内 容	参加者数(人)
1	愛媛県立松山北高等学校1年生	①平成20年10月29日(水) 12:00～15:40 ② * 11月19日(水) 12:00～15:00	①職場体験学習(船内見学) ②職場体験学習(船内見学、火おこし体験)	3 3
2		①平成20年10月30日(木) 15:00～15:30 ② * 11月11日(火) 9:00～16:00 ③ * 11月12日(水) 9:00～16:00	①職場体験学習打ち合わせ(船内見学) ②職場体験学習(船内・古墳見学、勾玉作り、火おこし体験) ③職場体験学習(中村松田道路現場見学)	6 6 6
3	松山市立桑原中学校2年生	①平成20年10月31日(金) 14:00～14:30 ② * 11月12日(木) 9:00～16:00 ③ * 11月13日(金) 9:00～16:00	①職場体験学習打ち合わせ(船内見学) ②職場体験学習(船内・古墳見学、勾玉作り、火おこし体験) ③職場体験学習(中村松田道路現場見学)	3 3 3
4	松山市立雄新中学校2年生	平成20年11月11日(火) 9:00～15:30	職場体験学習(船内・古墳見学、勾玉作り、火おこし体験)	10

## 普及啓発事業

表7 教育普及活動（出前考古学講座）一覧（1）

%	学校名及び団体名	学年	期間	内容	参加者数（人）
1 松山市立鳴瀬小学校	4～6年生		①平成20年 4月15日(火) ② * 4月22日(火) ③ * 5月20日(火) ④ * 6月10日(火) ⑤ * 6月17日(火) ⑥ * 6月24日(火) ⑦ * 9月9日(金) ⑧ * 10月17日(金) ⑨ * 10月21日(火) ⑩ * 10月27日(月) ⑪ * 11月3日(火) ⑫ * 11月18日(火) ⑬ * 11月25日(火) ⑭ 平成21年 1月20日(火) ⑮ * 1月27日(火) ⑯ * 2月3日(火) ⑰ * 2月17日(火) ⑲ * 3月3日(火)	クラブ活動 講義（佐賀県教育委員会 七田忠昭） クラブ活動 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 講義 土器焼き 講義	20 20 20 20 20 20 18 369 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20 20
			①平成20年 5月9日(火) ② * 5月30日(金) ③ * 6月6日(水) ④ * 6月5日(木) ⑤ * 6月6日(金) ⑥ * 6月13日(金) ⑦ * 7月16日(木) ⑧ * 11月20日(木)	講義	173
			①平成20年 4月24日(木) ② * 5月22日(木) ③ * 5月29日(木) ④ * 6月12日(木) ⑤ * 6月19日(木) ⑥ * 6月26日(木) ⑦ * 7月10日(木) ⑧ * 9月25日(木) ⑨ * 10月20日(月) ⑩ * 10月30日(木) ⑪ * 11月13日(木) ⑫ * 11月20日(木) ⑬ * 11月27日(木) ⑭ 平成21年 1月22日(木) ⑮ * 2月12日(木) ⑯ * 3月5日(木)	クラブ活動 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験	35 50 173 173 173 173 173 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30
2 松山市立坂本小学校	6年生	平成20年 4月24日(木)		火おこし体験	25
3 松山市立みどり小学校	4～6年生		①平成20年 4月24日(木) ② * 5月22日(木) ③ * 5月29日(木) ④ * 6月12日(木) ⑤ * 6月19日(木) ⑥ * 6月26日(木) ⑦ * 7月10日(木) ⑧ * 9月25日(木) ⑨ * 10月20日(月) ⑩ * 10月30日(木) ⑪ * 11月13日(木) ⑫ * 11月20日(木) ⑬ * 11月27日(木) ⑭ 平成21年 1月22日(木) ⑮ * 2月12日(木) ⑯ * 3月5日(木)	講義 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験 火おこし体験	30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30
			①平成20年 5月7日(水) ② * 5月8日(木)	講義 火おこし体験	127 127
			①平成20年 5月13日(火)	講義・火おこし体験	159
			①平成20年 5月17日(土) ② * 6月21日(土) ③ * 7月19日(土) ④ * 8月8日(金) ⑤ * 11月15日(土) ⑥ * 12月20日(土)	道路見学・火おこし体験 講義 道路見学 勾玉作り 道路見学 講義	35 36 25 55 25 25
			①平成20年 5月21日(水) ② * 5月30日(金) ③ * 6月24日(火)	火おこし体験・埴作り・講義 勾玉作り 講義	104 104 104
			①平成20年 5月24日(土) ② * 6月21日(土) ③ * 6月28日(土) ④ * 7月19日(土) ⑤ * 8月23日(土) ⑥ * 9月13日(土) ⑦ * 10月18日(土) ⑧ * 11月22日(土) ⑨ * 12月20日(土)	高校式・火おこし体験 古代米田植え 土器作り 土器焼き・かかし作り 埴作り 埴作り 勾玉作り 鉢つき 古墳のぐり 豪物 高校式	44 37 12 24 40 34 37 42 64 40 34 28
			①平成21年 1月24日(土) ② * 2月21日(土) ③ * 3月14日(火)	古墳のぐり 豪物 高校式	
7 北条ふるさと館	—	3年生	平成20年 6月5日(木)	講義	10
8 松山市立株生第二小学校	5年生	平成20年 6月18日(木)	火おこし体験	88	
9 松山市立湯島小学校	5年生	平成20年 6月20日(金)	講義	31	
10 味生公民館	—	平成20年 7月8日(金)	講義	81	
11 松山市立東中学校	1年生	①平成20年 10月28日(火) ② * 10月23日(木)	講義 勾玉作り	16	
12 松山市立野中学校	1年生	①平成20年 7月10日(木) ② * 10月23日(木) ③ * 10月31日(金)	講義 文化祭準備	50 32 32	
		④ * 11月1日(火)	文化祭	32	

表7 教育普及活動（出前考古学講座）一覧（2）

No.	学校名及び団体名	学年	期間	内容	参加者数（人）
13	私立新田高等学校	2年生	①平成20年 7月15日(火) ② * 7月16日(水) ③平成21年 3月10日(火) ④ * 3月13日(金)	火おこし体験 * 勾玉作り 火おこし体験	33 41 40 40
14	松山市立対田小学校	5年生	平成20年 7月15日(火)	火おこし体験	59
15	塞井地区愛護班	—	平成20年 7月19日(土)	火おこし体験	116
16	離島公民館	—	平成20年 7月20日(日)	勾玉作り	80
17	中嶋賀連子供会	—	平成20年 7月24日(木)	勾玉作り	37
18	三津浜児童クラブ	—	①平成20年 7月25日(金) ② * 7月30日(水)	土器作り 勾玉作り	30 30
19	由良公民館	—	①平成20年 7月25日(金) ② * 8月28日(木)	土器作り 火おこし体験・土器焼き・塗作り	30 14
20	高瀬公民館	—	①平成20年 7月31日(木) ② * 8月21日(木)	勾玉作り 土器焼き	40 40
21	余土公民館	—	平成20年 8月1日(金)	勾玉作り	63
22	雄郡公民館	—	平成20年 8月5日(火)	勾玉作り	45
23	日浦公民館	—	平成20年 8月7日(木)	火おこし体験・塗作り	3
24	石井公民館	—	①平成20年 8月18日(月) ② * 8月25日(月)	火おこし体験・絵日記 勾玉作り	22 25
25	湯山児童クラブ	—	平成20年 8月19日(火)	土器作り・火おこし体験	40
26	潮見公民館	—	平成20年 8月20日(水)	勾玉作り・火おこし体験	52
27	和気児童クラブ	—	平成20年 8月20日(水)	勾玉作り	26
28	葉井児童クラブ	—	平成20年 8月21日(木)	勾玉作り	50
29	生石公民館	—	平成20年 8月22日(金)	勾玉作り	47
30	道後公民館	—	平成20年 9月9日(金)	講義	47
31	松山市立津田中学校	2年生	平成20年 9月27日(土)	勾玉作り	41
32	野外活動センター「野外まつり」	—	平成20年 10月19日(日)	ふんどう君のぬり絵、ふんどう君作り	280
33	松山市立辰巳小学校	5年生	①平成20年 10月30日(木) ② 10月31日(金) ③ * 11月11日(火) ④ * 11月14日(金) ⑤ * 11月20日(木)	講義 * * * 指導	20 30 20 20 8
34	松山市立鷹川中学校	全学年	平成20年 11月1日(土)	勾玉作り	23
35	松山市立墨野中学校	全学年	平成20年 11月2日(日)	勾玉作り	29
36	松山市立北中学校	全学年	平成20年 11月3日(月)	勾玉作り	40
37	松山市立草原小学校	5年生	①平成20年 11月7日(金) ② * 12月4日(木)	講義・指導 *	80 7
38	松山市立久米中学校	2年生	平成20年 11月12日(水)	職場体験学習 現場見学(中村)	6
39	松山市立桑原中学校	2年生	平成20年 11月13日(木)	職場体験学習 現場見学(中村)	3
40	星ヶ岡公民館	—	平成20年 11月23日(日)	展示品貸し出し・案内	300
41	南斎院町高齢者クラブ	—	平成20年 11月26日(水)	講義	30
42	松山市立石井北小学校 PTAバザー	—	平成20年 11月30日(日)	火おこし体験・ふんどう君作り	237
43	正岡公民館	—	平成20年 12月21日(日)	勾玉作り	24
44	松山市立久米中学校	1年生	平成21年 2月6日(金)	講義	15
45	とっとり発! 銚生文化シンポジウム	—	平成21年 2月14日(土)	講義・火おこし体験・勾玉作り・ ふんどう君色づけ・ぬり絵	304
46	栗井公民館	—	平成21年 2月28日(土)	火おこし体験	28
47	生涯学習フェスタ	—	平成21年 3月1日(土)	ふんどう君のぬり絵	33

表8 出版物（教育普及活動）一覧

No.	出版物名	発行日	対象	版型・頁	部数
1	発掘へんろ展 ポスター チラシ	平成 20 年 4 月	一般	B2 A4	600 枚 10000 枚
2	業佐町古墳と播磨塚天神山古墳展 展示解説会 レジュメ	平成 20 年 4 月	聴講者	A4・4 頁 A3・4 頁	100 部
3	発掘へんろ展展示解説会 レジュメ	平成 20 年 4 月 ～ 5 月	聴講者	A4・8 頁 A3・1 頁	100 部 100 部
4	考古学講座 (1) レジュメ	平成 20 年 5 月 ～ 平成 21 年 3 月	聴講者	A4・16 頁、A3・1 頁 A3・2 頁、A4・8 頁	100 部
	(2) *				
	(3) *				
	(4) *				
	(5) *				
	(6) *				
	(7) *				
	(8) *				
	(9) *				
	(10) *				
5	発掘調査連報展 ポスター チラシ	平成 20 年 7 月	一般	A2 B5	400 枚 5000 枚
6	発掘調査報告会 レジュメ	平成 20 年 8 月 ～ 9 月	聴講者	A4・52 頁 A4・12 頁	100 部 100 部
7	特別展 ポスター パンフレット チラシ	平成 20 年 9 月	一般	B2 A4・16 頁 B5	600 枚 2000 枚 15000 枚
8	特別展 記念講演会① レジュメ	平成 20 年 10 月	聴講者	A4・8 頁	200 部
	記念講演会② *	～ 11 月		A4・10 頁	150 部
	記念講演会③ *	～ 12 月		A4・6 頁	100 部
9	松山城展 展示解説会 レジュメ	平成 20 年 12 月	聴講者	A3・1 頁 A4・5 頁	200 部
10	特別企画展 ポスター チラシ	平成 21 年 1 月	一般	B2 B5	500 枚 15000 枚
11	特別企画展 記念講演会① レジュメ	平成 21 年 1 月	聴講者	A4・1 頁	100 部
	記念講演会② *	～ 2 月		A4・8 頁	100 部
	記念講演会③ *	～		A4・4 頁	100 部
	記念講演会④ *	～ 3 月		A4・6 頁	100 部

表9 出版物（調査報告書）一覧

No.	報告書名	発行日	対象	版型・頁	発行数（部）
1	松山市文化財調査報告書 第 128 集 『善応寺大庭北遺跡』	平成 21 年 1 月 31 日	一般	A4・56 頁	500
2	松山市文化財調査報告書 第 129 集 『枝松遺跡 11 次調査』	平成 21 年 3 月 31 日	一般	A4・48 頁	500
3	松山市文化財調査報告書 第 130 集 『博味西反地道路 12・13 次調査』	平成 21 年 3 月 31 日	一般	A4・162 頁	300
4	松山市文化財調査報告書 第 131 集 『博味高木遺跡 12・13 次調査』	平成 21 年 1 月 31 日	一般	A4・184 頁	300
5	松山市文化財調査報告書 第 132 集 『久米高畠遺跡 67・68 次調査』	平成 21 年 1 月 31 日	一般	A4・82 頁	300
6	松山市文化財調査報告書 第 133 集 『博味西反地道路 14・16 次調査』	平成 21 年 1 月 31 日	一般	A4・118 頁	300
7	松山市文化財調査報告書 第 134 集 『若狭小学校構内遺跡・佑南中学校構内遺跡・中村長正道跡・小坂七ノ坪遺跡』	平成 21 年 3 月 31 日	一般	A4・238 頁	500
8	松山市文化財調査報告書 第 135 集 『史跡久米官衙遺跡群 3—久米高畠道路 47・51 次調査一』	平成 21 年 3 月 31 日	一般	A4・114 頁	300
9	松山市文化財調査報告書 第 136 集 『久米高畠道路 1・7 次調査』	平成 21 年 3 月 31 日	一般	A4・140 頁	500
10	松山市埋蔵文化財調査年報 20 (平成 19 年度)	平成 20 年 12 月 26 日	一般	A4・82 頁	500

表10 資料の貸出一覧

No.	貸出資料名	点数	貸出・利用目的	貸出・利用期間
1	(写真)「久米辞」(2L版カラー)	1点	「伊予の古代」に掲載するため	平成20年5月30日 ～8月31日
2	(写真)大津古代ハスの開花	1点	「松山百点」260号(平成20年7月1日発行予定)にて利用するため	平成20年6月1日 ～6月30日
3	(写真)番町遺跡 番町道路出土 陶器鏡ほか	28点 80点	特別展「振り出されたえひめの江戸時代」に展示及び図録、各種広報物への掲載	平成20年7月3日 ～12月26日
4	展示ケース	3点	愛媛県金庫本店にて「平和アート～から歴～～展」に展示するため	平成20年6月28日 ～7月31日
5	(写真)東本遺跡出土 織はか	8点	(財)愛媛県埋蔵文化財調査センター及び愛媛県生涯学習センター共同企画展の資料作成のため	平成20年7月5日
6	(写真)玉川町出土 环付瓶ほか	12点	「季刊雑誌の考古学」2008秋号(留宿出版社、ソウル)に掲載の「日本別島出土陶質土器2 愛媛県出土新羅系陶質土器」に使用のため	平成20年7月15日 ～7月29日
7	(写真)玉川町別所出土 陶質土器	1点	(財)愛媛県埋蔵文化財調査センター及び愛媛県生涯学習センター共同企画展の資料作成のため	平成20年7月15日
8	(写真)大瀬遺跡出土品一式ほか	3点	船橋小学校100周年記念誌掲載のため	平成20年8月6日
9	福音小学校構内道路出土 磁台ほか (写真)朝日谷2号墳 磁出土状況	3点 1点	今治市古代文化シンポジウム「西部灘川内の初期前方後円墳を探る」の企画展示で使用するため	平成20年11月19日 ～11月26日 平成20年8月20日 ～11月26日
10	(写真)大瀬遺跡 出土土器の集合写真	1点	「やきもの完全ガイド」の編集作業のため	平成20年9月8日 ～10月8日
11	分離形土製品（土偶） (写真)分離形土製品（土偶）	189点 152点	徳島市考古資料館の開館10周年記念特別企画「古代のまつりと信仰」に展示、資料集掲載で使用するため	平成20年10月1日 ～12月3日 平成20年9月9日 ～10月1日
12	福音小学校構内道路出土 磁ほか (写真)福音小学校構内道路出土 磁ほか	7点 1点	平成20年度冬季特別展「倭人がみた魔」に展示、資料集掲載で使用するため	平成21年1月24日 ～3月15日 平成20年10月6日 ～平成21年2月6日
13	柳味四反地遺跡出土 遺物ほか	4点	(財)愛媛県埋蔵文化財調査センター ③年度テーマ展「時代のものさし—古代—」に展示するため	平成20年10月10日 ～平成21年3月30日
14	展示ケース 星ノ岡遺跡出土 磁台ほか	1点 5点	星岡町ふれあい広場に展示するため	平成20年11月21日 ～11月23日
15	(写真)今治市唐子台No.80出土 有蓋高环ほか	10点	「季刊雑誌の考古学」2008年冬号(留宿出版社、ソウル)掲載の「日本別島出土陶質土器3 愛媛県出土の加那系陶質土器」に使用のため	平成20年12月5日 ～12月19日
16	瓶形器「久米辞」ほか	6点	松山市考古整理準備事務のレプリカ作成等のため	平成21年1月9日 ～3月31日
17	(写真)西予市伊勢山大塚古墳出土 有蓋高环ほか	4点	「季刊雑誌の考古学」第11号(留宿出版社、ソウル)掲載の「日本別島出土陶質土器4 愛媛県出土新羅系陶質土器」に使用のため	平成21年3月14日 ～3月28日

表11 資料の調査一覧（1）

No.	調査資料名	点数	調査・利用目的	調査・利用期間
1	(常設展示室展示品)	2点	授業の資料として使用するため 写真撮影	平成20年4月19日
2	(常設展示室展示品)	4点	個人の研究のため 写真撮影	平成20年4月20日
3	葉佐池古墳出土 子持器ほか	3点	研究の参考資料のため 写真撮影	平成20年6月21日
4	重圓日光鏡ほか	2点	研究の参考資料のため 写真撮影	平成20年6月21日
5	若草町遺跡SK3出土 重圓鏡帶鏡ほか	7点	博士論文のため 熟観、写真撮影	平成20年6月23日
6	松山大学構内道路3次調査出土 支脚ほか	92点	卒業論文のため 熟観、模写、写真撮影	平成20年6月30日 ～7月18日
7	筆ノ口遺跡出土 大型器台	1点	授業の資料として使用するため 写真撮影	平成20年7月5日

表11 資料の調査一覧（2）

No.	調査資料名	点数	調査・利用目的	調査・利用期間
8	（常設展示室展示品）緑色片岩製の箱式石棺	1点	夏休みの宿題のため 写真撮影	平成20年7月29日
9	（常設展示室展示品）高床建物はか	5点	自由研究のため 写真撮影	平成20年7月29日
10	（常設展示室展示品）裝飾品はか	17点	学校の宿題のため 写真撮影	平成20年8月3日
11	（常設展示室展示品）菴佐池古墳出土 遺物はか	4点	学校の宿題のため 写真撮影	平成20年8月3日
12	（常設展示室展示品）松山の首長墳はか	6点	学校の宿題のため 写真撮影	平成20年8月8日
13	（常設展示室展示品）人物埴輪はか	4点	夏休みの宿題のため 写真撮影	平成20年8月9日
14	（常設展示室展示品）古照遺跡出土 土器はか	15点	中学校の宿題のため 写真撮影	平成20年8月9日
15	（常設展示室展示品）釜ノ口遺跡出土 ナイフ形石器はか	10点	学校の宿題のため 写真撮影	平成20年8月13日
16	（常設展示室展示品）船ヶ谷向山古墳 墓輪列はか	13点	学校の宿題のため 写真撮影	平成20年8月13日
17	（常設展示室展示品）埴輪はか	10点	学校の宿題のため 写真撮影	平成20年8月13日
18	（常設展示室展示品）分胴形土製品はか	11点	夏休み自由研究のため 写真撮影	平成20年8月15日
19	（常設展示室展示品）菴佐池古墳出土遺物はか	22点	学校の宿題のため 写真撮影	平成20年8月15日
20	（常設展示室展示品）菴佐池古墳出土遺物はか	7点	学校の宿題のため 写真撮影	平成20年8月16日
21	古照遺跡7次調査出土 土器類はか	16箱 2点	個人の研究のため 熱観	平成20年8月25日
22	（常設展示室展示品）博物館実習の様子はか	100点	博物館実習、実習後の発表で スライドに使用するため写真撮影	平成20年8月26日 ～8月30日
23	（特別展示室展示品）むかし・昔のまつやまと掘る （常設展示室展示品）古照遺跡	—	個人の研究のため 写真撮影	平成20年9月9日
24	来住庭寺出土 木器	6点	古代の紡績に関わる研究のため 熱観、写真撮影	平成20年9月19日
25	古照遺跡出土 支脚はか	264点	卒業論文のため 熱観、模写、写真撮影	平成20年9月26日 ～10月31日
26	東山糞が森古墳群 出土遺物	7点	卒業論文のため 熱観、模写、写真撮影	平成20年10月14日 ～10月17日
27	岡太郎採集資料	12点	器台形土器類のため 熱観	平成20年10月9日
28	船ヶ谷道路 出土遺物	39点	卒業論文のため 熱観、模写、写真撮影	平成20年10月22日 ～10月31日
29	高庭茶臼白山古墳 出土遺物	6点	卒業論文のため 熱観、模写、写真撮影	平成20年10月30日
30	福音寺遺跡出土 木器はか	6点	卒業論文のため 熱観、模写、写真撮影	平成20年11月18日 ～11月21日
31	縄釉陶器はか	89点	古代窯業生産研究のため 熱観、写真撮影	平成20年12月5日
32	朝美澤遺跡2次調査出土 土器はか	454点	卒業論文のため 熱観、模写、写真撮影	平成20年12月16日 ～12月24日
33	古照遺跡出土 建築部材	5点	出土建築部材の研究のため 熱観	平成20年12月12日
34	古照遺跡出土 土器はか	59点	所蔵する専門学校の課題である漫 画制作の参考資料として写真撮影	平成20年12月25日
35	菴佐池古墳2号石室出土 土器はか	11点	学校での發表資料作成のため 模写、写真撮影	平成21年1月4日
36	市内古墳出土の玉類	2533点	古墳時代における玉類の流通に 関する調査のため熱観	平成21年1月22日
37	古照遺跡の埴輪はか	2点	資料収集のため 写真撮影	平成21年1月24日
38	大洞遺跡出土 土器はか	13点	発掘調査に係る関連資料 調査のため熱観	平成21年1月29日
39	松山大学構内道路 調査回面はか	—	個人の研究のため 熱観、模写、写真撮影	平成21年2月12日 ～2月13日

表11 資料の調査一覧（3）

No.	調査資料名	点数	調査・利用目的	調査・利用期間
40	北斎院遺跡出土 土器ほか	13点	個人の研究のため 熟観	平成21年2月27日
41	（常設展示室展示品）	6点	個人の研究のため 写真撮影	平成21年3月14日
42	（常設展示室展示品）	53点	個人の研究のため 写真撮影	平成21年3月22日
43	鶴が峰道路出土 塚輪 埴輪天神山古墳出土 墓輪	一式	調査研究のため 熟観、写真撮影	平成21年3月25日

表12 職員研修・会議一覧

No.	研修・会議名	日時	開催地	参加者数
1	全国埋蔵文化財法人連絡協議会総会	平成20年6月12・13日（木・金）	京都市	1名
2	全国埋蔵文化財法人連絡協議会 中国・四国・九州ブロック会議	平成20年10月16・17日（木・金）	広島県三次市	3名
3	全国埋蔵文化財法人連絡協議会役員会	平成20年12月2・3日（木・金）	東京都	1名
4	埋蔵文化財発掘技術者専門研修 「中世城郭調査整備課程」	平成20年12月10日（水）～18日（木）	奈良市	1名
5	平成20年度第2回埋蔵文化財担当職員研修会	平成21年2月4日（水）～6日（金）	福岡県太宰府市	1名

表13 平成20年度 考古館月別入館者数調（平成20年4月1日～21年3月31日）（単位：人）

月	開館日数	有料入館者					無料入館者					特別展示室	展示室延入場者数	入館者数
		一般	高齢者	团体 各種割引	前売	小計	高校生 以下	身障者	その他	小計				
4	25日	269	78	42		389	446	7	14	467	937	1,793	1,479	
5	27日	151	41	0		192	646	11	19	676	1,156	2,024	1,280	
6	25日	195	75	0		270	423	0	17	440	1,271	1,981	1,509	
7	27日	187	41	235		463	89	27	2	118	1,011	1,592	1,452	
8	27日	182	18	86		286	482	37	0	519	1,187	1,902	1,273	
9	24日	119	43	0		162	76	2	0	78	595	835	700	
10	27日	25	3	37		65	282	12	921	1,215				
	特18日	546	209	0	84	899	196	12	102	310	1,125	2,405	1,758	
11	26日	20	10	0		30	279	16	895	1,190				
	特21日	417	231	78	153	879	274	16	169	459	1,185	2,405	1,590	
12	23日	119	39	56		214	89	5	0	94	792	1,100	961	
1	24日	113	42	0		155	36	0	0	36	446	637	614	
2	23日	182	209	61		452	200	71	6	277	1,195	1,924	1,376	
3	26日	207	97	0		304	865	7	35	907	1,470	2,681	1,938	
計		304	2,732	1,196	595	4,760	4,383	223	2,180	6,786	12,370	21,369	15,930	



写真1 『速報展』見学風景



写真2 特別記念講演会



写真3 初心者のための考古学講座（古墳見学）



写真4 古代体験教室（考古館探検）



写真5 来館（館内案内）



写真6 来館（校区内の遺物実見）



写真7 来館（特別展案内）



写真8 職場体験（中学校）



写真9 出前考古学講座①（小学校・講義）



写真10 出前考古学講座②（小学校・講義）



写真11 出前考古学講座③（小学校・火おこし体験）



写真12 出前考古学講座④（小学校・土器見学）



写真13 出前考古学講座⑤（小学校・土器焼き）



写真14 出前考古学講座⑥（土器焼き）



写真15 出前考古学講座⑦（勾玉作り）



写真16 出前考古学講座⑧（はにわ作り）



写真 17 大連古代ハス開花風景（1）



写真 18 大連古代ハス開花風景（2）

## 松山市埋蔵文化財調査年報 21

---

平成21年12月28日 発行

編集  
発行

松山市教育委員会  
〒790-0003

愛媛県松山市三番町6丁目6-1

TEL (089) 948-6605

財團法人 松山市生涯学習振興財團  
埋蔵文化財センター

〒791-8032 愛媛県松山市南斎院町乙67番地6

TEL (089) 923-6363

FAX (089) 925-0260

印刷

明星印刷工業株式会社

〒790-0056 愛媛県松山市居田町500番地

TEL (089) 971-7111

---